

自治体病院比較経営診断表

I 比較経営診断表の内容

1. 診断表の基本的な考え方

病院事業の経営状況を示す指標としては、現在、経常収支比率、医業収支比率を代表例とする経営状況を示す諸指標があり、また、高度・特殊、救急医療や看護配置の実施状況など医療水準を示す諸指標がある。

しかし、これらの諸指標は、高度・特殊医療などを実施すれば医療水準は向上するものの、反面、経営構造は悪化するというように、相互に密接な関連を有しながら二律背反的な面も併せ持っている。

ところが、これまでは、これらの指標の位置づけ、すなわちその分類と総合化が必ずしも十分とはいえなかったため、病院経営の総合診断に関する指標が存在していなかった。病院経営の健全性を総合的に測る尺度を何に求めるかは非常に難しい問題であるが、そのための方法として、病院の経営状況を示す指標を、

- ① 一定の基準により分類整理し、
- ② それぞれの指標ごとに、各病院の水準を全国平均値及び分布状況との比較により評価し、
- ③ 同種に属する指標の評点を集計する

ことにより、総合評価を行うことは可能である。

自治体病院比較経営診断表は、このような考え方を基本として作られている。

この手法の特徴は、

- ① 各病院のおかれている地理的、社会的条件等は捨象し、全一般病院を同一の基準により比較・評価する
- ② 全一般病院における相対的位置を示す「評価スケール」を用い、各病院の数値を評点化する
- ③ 同種に属する指標の評点を集計し評価する

ことにより、病院の経営状況を総合的かつ簡便に診断しようとするものである。

2. 診断表の組み立て

病院事業の経営が健全に行われているかどうかの尺度として、

第1に、効率的な経営が確保され、収支の均衡が保たれているかどうか、

第2に、経営状況がどのような傾向にあるか、また、経営改善について努力されているかどうか、

第3に、住民に信頼される病院として適正な医療施設水準及び医療体制が確保されているかど

うか、

の3点を基本として、診断表を次のように構成する。

}	経営指標診断表	
	現況指標……………	第1の観点
	状況変動指標……………	第2の観点
	医療指標診断表……………	第3の観点

それぞれの指標の内容、選定項目は次のとおりである。

(1) 経営指標診断表

ア. 現況指標…… 客観的な経営状況を診断する指標として、収支面、収入・支出面、構造面から34項目が選定されている。この指標は、病院経営の前提となる病院経営の現況をあるがままの姿で示そうとするものであるが、この指標は、本来、地理的、社会的要因等外的要因によって大きく左右されるものである。

しかし、この手法は基本的にその病院のおかれている地理的、社会的な環境などを捨象し、全病院を同一の基準で扱うことを前提として、当該病院における経営状況の水準を診断することとしている。

イ. 状況変動指標…… 経営状況がどのような傾向をたどっているかを診断する指標として、28項目が選定されている。具体的には、前年度数値と当該年度数値との伸び率または数値差をとらえ、全病院の変化率の分布状況との比較により、当該病院における経営努力の水準を診断することとしている。なお、項目の算出方法及び考え方については、現況指標と同じである。

(2) 医療指標診断表…… 地域住民に信頼される病院として適正な医療施設水準、医療体制が確保されているかどうかを診断する指標として23項目が選定されている。この指標は、病院の医療の水準を、施設水準及び住民に提供されるサービスの水準というハード・ソフト両面においてとらえようとするものである。全病院の指標分布状況に基づいて評価を行うこととしているが、計数化が困難な指標については、整備水準の達成度又は該当項目の実施の有無等により評価を行うこととしている。

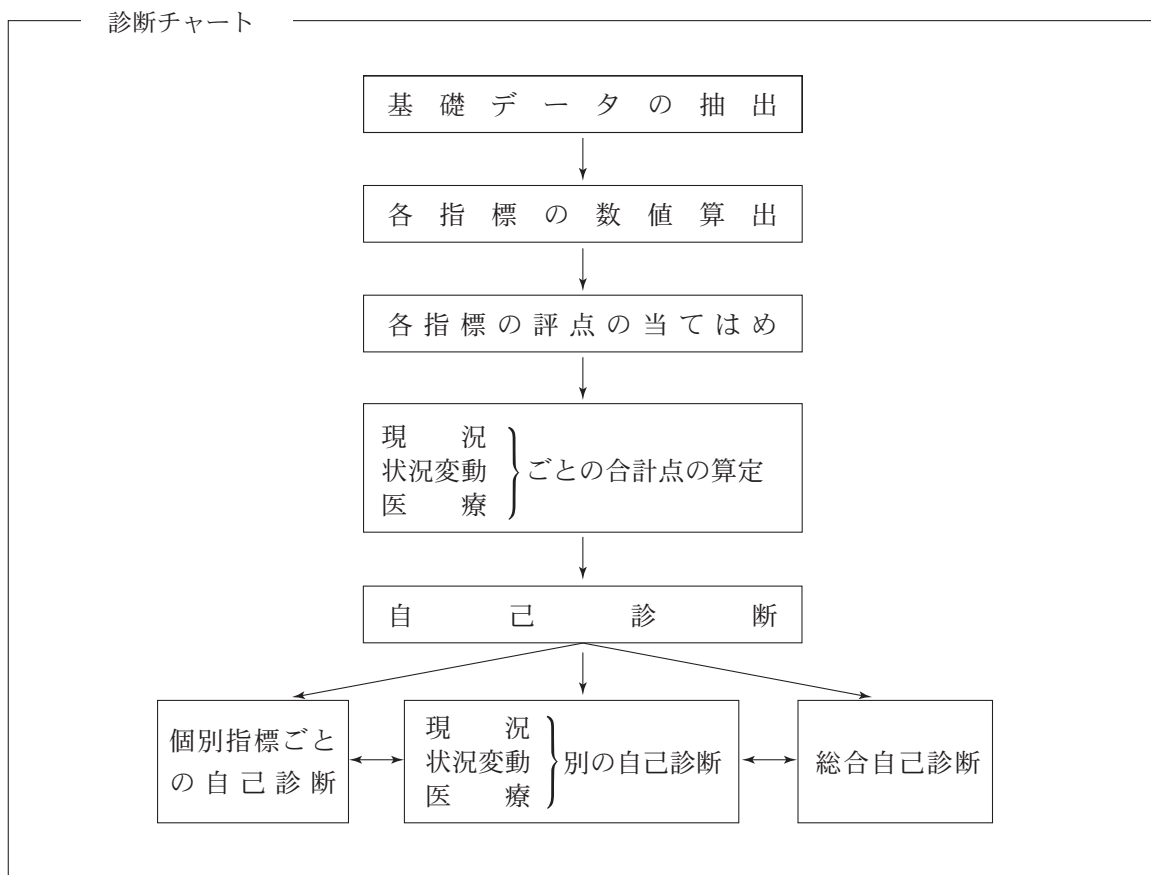
II 比較経営診断表の活用

1. 診断の手順

次図の診断チャートに示すように、まず「基礎データの抽出」を行い、「各指標の数値算出」、「各指標の評点の当てはめ」をし、「現況、状況変動、医療ごとの合計点の算出」を行う。

次に「自己診断」に移ることとなるが、経営指標（現況指標及び状況変動指標）、医療指標のそれぞれについて合計点により、当該病院がどのような水準にあるか、また、その順位など全病院における相対的位置を把握する（「現況、状況変動、医療別の自己診断」）。

さらに、3種の指標についての相互の関連により当該病院について総合診断を下し、どのような類型に属するかを決定する（「総合自己診断」）。当該病院についての総合診断の結果どのような類型に属するかが決まったら、その類型をもたらした原因を個別指標を調べることにより探求し（「個別指標ごとの自己診断」）、これを改善するための種々の方策を検討する。



2. 指標の評価方法

評価にあたっては、基本的には、当該病院のおかれている地理的、社会的な環境などを捨象し、それぞれの病院の全一般病院における相対的位置を指標毎に評点化し、同種の指標を集計して総合評価しようとするものである。

したがって、評価結果は、全一般病院における相対的位置を示すものであり、絶対的な評価を示すものではないことに留意する必要がある。

(1) 現況指標（偏差値評価）

各指標について、全一般病院の平均値と当該病院の数値とを比較し、標準偏差（散らばりの度合）を尺度として評価する。

<偏差値の算式>

$$\text{偏差値} = \begin{cases} \frac{\text{当該病院数値} - \text{平均値}}{1 / 10 \times \text{標準偏差}^*} \dots\dots \text{①} & \text{(当該病院の数値が大きいほどよい指標に適用)} \\ \frac{\text{平均値} - \text{当該病院数値}}{1 / 10 \times \text{標準偏差}^*} \dots\dots \text{②} & \text{(当該病院の数値が小さいほどよい指標に適用)} \end{cases}$$

$$* \text{標準偏差} = \sqrt{\frac{(\text{各病院数値} - \text{平均値})^2 \text{ の総和}}{\text{病 院 数}}}$$

(算出例) (平成18年度)

経常収支比率が、103.3%である病院の偏差値

評価スケールの全国平均値 93.9%

” 標準偏差 8.2

経常収支比率は、その数値が大きいほどよい項目であるので、算式①に当てはめて計算する。

$$\text{算式①} = \frac{\text{当該病院数値} - \text{全国平均値}}{1 / 10 \times \text{標準偏差}} = \frac{103.3 - 93.9}{1 / 10 \times 8.2} = 11.5 \dots\dots \text{偏差値評点}$$

11.5という評点から、その病院のおおよその順位（位置）を求めるには、P. 135の診断表評価スケールの平成18年度の偏差値の分布に当てはめて、「 $20 > i \geq 10$ 」の欄をみると、「7位～84位」の間にあることがわかる。（そのうちで11.5は下位に位置するから、おおむね70位程度という見当がつけられる。）

(2) 状況変動指標（5段階評価）

ア. 全一般病院の各指標について、その分布状況を尺度として5段階評価とする。

イ. 原則として各評点ごとの病院数は概ね次のとおり分布するように配点する。

+ 2 点	150病院	(1 位～150位)
+ 1 点	150病院	(151位～300位)
0 点	300病院	(301位～600位)
- 1 点	150病院	(601位～750位)
- 2 点	250病院	(751位以下)

(5段階評価の算式)

$$\text{変化率} = \begin{cases} \frac{18\text{年度数値} - 17\text{年度数値}}{17\text{年度数値}} \times 100 & (\text{数値が比率である場合に適用}) \\ \frac{18\text{年度数値} - 17\text{年度数値}}{17\text{年度数値}} \times 100 & (\text{数値が実数値である場合に適用}) \end{cases}$$

(算出例)

(例1) 数値が比率である場合の変化率

17年度の経常収支比率 101.4 %

18年度の " 103.3 %

の病院の経常収支比率変化率の評点

変化率 = 18年度数値 - 17年度数値

であるので、この病院の経常収支比率変化率は、

103.3 - 101.4 = 1.9 (ポイント)

となる。

i = 1.9をP. 136の診断表評価スケールの経常収支比率変化率の欄に当てはめると、
i ≥ 1.4の区分に該当し、評点は+2点となる。また、+2点には、1位～150位の病院が入っており、そのうちおおむね中位に属していることから、順位もおおよそ120位前後と把握できる。

(例2) 数値が実数値である場合の変化率

17年度の入院患者1人1日当たり診療収入 33,487円

18年度の " 34,147円

の病院の入院患者1人1日当たり診療収入変化率の評点

$$\text{変化率} = \frac{18\text{年度数値} - 17\text{年度数値}}{17\text{年度数値}} \times 100$$

であるので、この病院の入院患者1人1日当たり診療収入変化率は、

$$\frac{34,147 - 33,487}{33,487} \times 100 = 2.0 (\%)$$

となる。

i = 2.0をP. 136の診断表評価スケールの入院患者1人1日当たり診療収入変化率の欄に当てはめると、4.1 > i > 1.3の区分に該当し、評点は、+1点となる。また、±1点には、150位～300位の病院が入っており、そのうち中位に属していることから、順位もおおよそ250位前後と把握できる。

(3) 医療指標（5段階評価）

ア. 原則として全一般病院の各指標について、その分布状況を尺度として5段階評価する。

イ. 医療指標のうち整備水準が法令の規定等によって定められている指標については、その達成状況により5段階評価する。

(算出例)

救急告示病院における救急体制	施設設備	救急専用入口	} を整備…2点
専用病床数 10床 …………… 3点	〃	処置室	
待機体制 医師1名	〃	手術室	
看護師3名 } 常時当直…4点	〃	自動車	
			合計 9点

の場合、P. 117の数値以外の医療指標の評点算出の救急告示の区分に当てはめBに該当し、P. 137の診断表評価スケールの救急告示の欄に当てはめ評点は+1点となる。

ウ. 医療指標のうち計数化が困難な患者サービス面の指標については、その実施の有無により2段階評価する。

(算出例)

外来予約を実施している場合

P. 137の診断表評価スケールの外来予約の欄に当てはめ評点は+1点となる。

3. 自己診断

3種類の自己診断について詳しく述べることとする。

(1) 現況指標及び状況変動指標による自己診断

ア. 評価スケールの点数は、相対的な点数づけとなっており、一般的にはプラス点となっていれば、おおむね良好な水準にあることを示しており、また、0点は平均的な水準にあるといえる。

イ. マイナス点は、相対的にみてかなり低い水準にあることを示しており、その原因を分析す

るとともに改善に向かっての自己努力が必要である。

ウ. 現況指標について診断表評価スケールを適用することにより、全病院における相対的な順位を把握する。

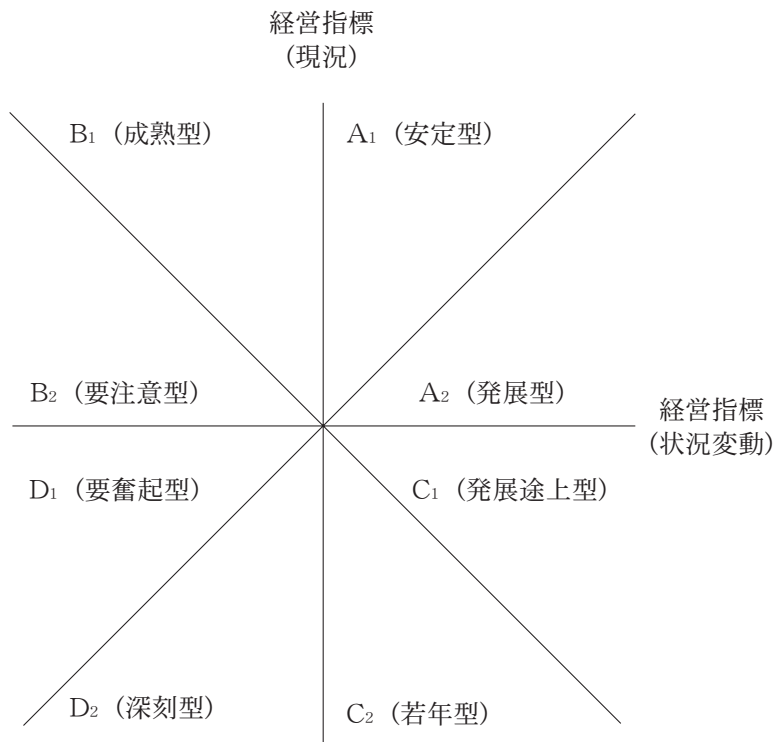
エ. 状況変動指標の点数は、現況指標の水準を考慮して判断する必要がある。例えば、現況指標の点数がプラス点を示しその水準が高い場合には、状況変動指標の点数が0点であっても実数値がマイナスとなっていなければ、良好なものとして評価することが必要である。

(2) 総合自己診断

現況指標と状況変動指標及び現況指標と医療指標の関係を2つのグラフに表し、この3つの指標の関連を総合的に把握することがまず必要である。

その結果、グラフの座標の位置により、おおむね次のような類型に分類される。

ア. 経営指標のグラフ（現況と状況変動）（縦軸……現況、横軸……状況変動）



(ア) Aグループ：現況も良く、またさらに向上すると予想されるグループ。

このグループにあることが望ましいが、さらに区分すると次の2つのグループになる。

A1：安定型

経営はほぼ安定期にあり、今後は現状を維持することに努めるべきグループ。

A 2 : 発展型

今後の努力によってさらに伸びると予想されるグループ。

(イ) Bグループ : 現状は良好であるが、このままでは悪化が予想される要注意グループ。

このグループはなんらかの改善策を講ずる必要があるが、さらに区分すると次の2つのグループになる。

B 1 : 成熟型

現状の水準が高くほぼ頭打ちであり、状況変動が相対的に悪くなっているグループ。

実数値で伸び率がマイナスになっていないかどうかには注意する必要がある。

B 2 : 要注意型

過去の蓄積により現況水準を確保しているグループ。

このままではDグループへの転落が予想されるので、改善策の検討が必要である。

(ウ) Cグループ : 現況は悪いが、今後向上が予想されるグループ。

このグループをさらに区分すると次の2つのグループになる。

C 1 : 発展途上型

努力は認められるが、もう一歩であるグループ。このまま努力すればAグループに入ることが予想されるので各項目ごとの指標の分析が必要である。

C 2 : 若年型

努力はしているが現況がかなり低いグループ。長期的な努力の継続が必要である。

(エ) Dグループ : 現況が悪く、また努力が不足していると思われるグループ。

このグループは相当な努力が必要とされるが、さらに区分すると次の2つのグループになる。

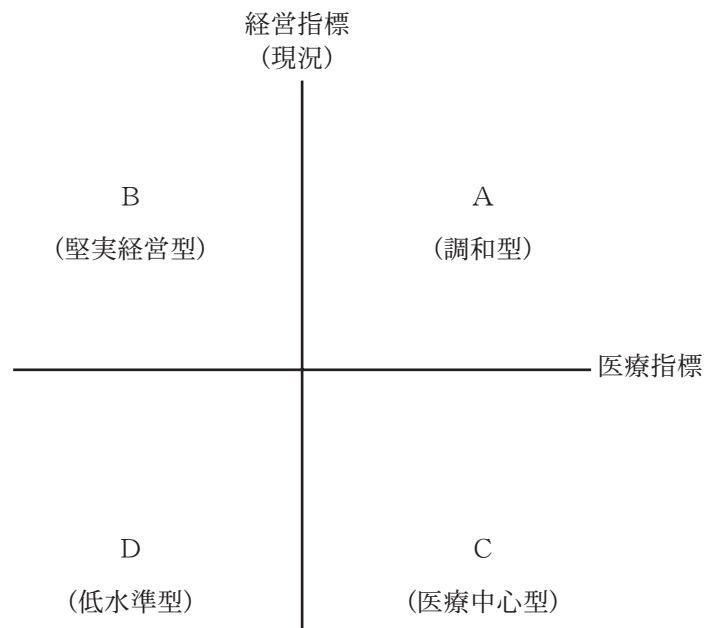
D 1 : 要奮起型

努力不足により現況が水準に達していないグループ。努力次第ではB又はAグループ入りが可能である。

D 2 : 深刻型

病院の性格の問題もあるが、原点に立ち帰って根本的な見直しが必要であるグループ。

イ. 経営指標（現況）と医療指標のグラフ（縦軸……経営指標（現況）、横軸……医療指標）



(ア) Aグループ：調和型

現況と医療が調和しているグループ。今後とも現状を維持向上していくことが望まれる。

(イ) Bグループ：堅実経営型

現況は平均以上の水準を維持しているが、医療面の充実が望まれるグループ。今後は医療体制の整備と患者サービス面の向上が望まれる。

(ウ) Cグループ：医療中心型

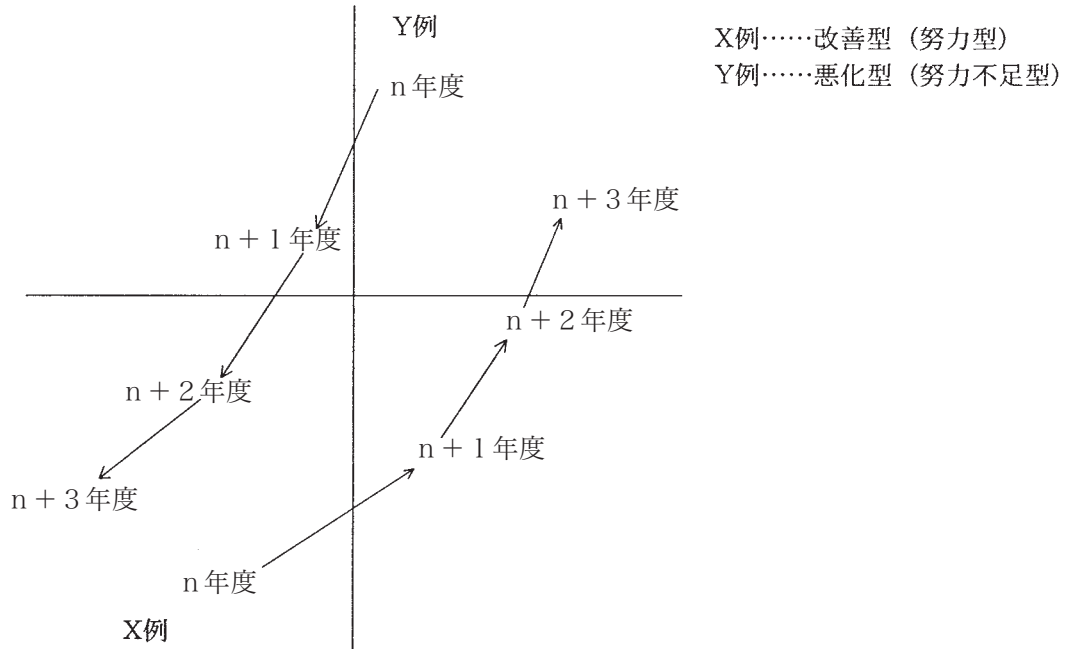
経営面の努力が望まれるグループ。整備された物的・人的資源をフルに活用して経営効率を高める努力が必要である。

(エ) Dグループ：低水準型

抜本的な病院の見直しが必要とされるグループ。病院の規模、機能について原点に立ち帰り検討するとともに経営健全化計画の策定が必要である。

ウ. 時系列管理グラフ

上記ア、イのグラフの指標について、基準年度をスタート台としてその後の推移を分析診断するため、時系列管理グラフを作成することが必要である。



4. モデルによる診断の実例

(1) 選定した病院の概要

	10. 3. 31	11. 3. 31	12. 3. 31	13. 3. 31	14. 3. 31	15. 3. 31	16. 3. 31	17. 3. 31	18. 3. 31	19. 3. 31	
病床数(床)	376(一般376)	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	
病院の種類・診療科目	総合病院 (20科)										同左
指定病院の状況	へき、中核、 救急、臨床研 修			同左	同左	同左	同左	同左	同左	へき、救急 災害、臨床研 修、輪番制	
看護配置	新制(2.5:1)										2.5:1
診療圏内人口(万人)	18			同左					同左	17	
	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	
収支等の 状況	純利益(千円)	442,767	341,481	435,506	614,530	326,602	26,487	38,114	177,128	-66,489	-486,564
	経常利益(千円)	425,619	359,265	438,102	623,140	331,228	24,161	43,110	177,182	-62,549	-477,579
	経常収支比率(%)	107.5	106.3	107.6	111.7	106.0	100.4	100.8	103.3	98.8	90.6
	医業収支比率(%)	96.8	95.5	96.7	98.2	93.3	87.8	88.8	90.1	86.0	77.8
	職員数(人)	330	324	321	331	328	337	330	329	326	327
	100床当たり職員数(人)	97.6	95.9	95.0	97.9	97.0	99.7	101.5	101.2	100.3	100.6
	患者数 (1日平均)	入院(人) 287 外来(人) 885	291 899	302 912	292 907	277 938	273 928	258 878	247 806	226 700	207 524
病床利用率(%)	84.9	86.1	89.3	86.4	82.1	80.7	77.1	76.0	69.5	63.7	

(注) 「看護配置」については、平成11年度以前は「看護の基準」と読み替える。

(2) 評価結果(評点表)の算出

モデル病院についての概要は、(1)のとおりであるが、各指標に必要な基礎データを地方公営企業決算状況調査表等から抽出し、各年度のそれぞれの診断表評価スケール(参照)により各指標の数値を算出(2. 指標の評価方法参照)した評価結果(評点表)は、別表1~3のとおりである。

(3) 自己診断

ア. 現況、状況変動、医療別の自己診断

各指標の項目ごとの評点は別表1~3のとおりであるが、このうち- (マイナス) となっているものは自治体病院の平均を下回っているものであり、改善の努力が必要な項目である。

各指標の評点の合計及び現況指標による順位は、次のとおりである。

	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
現況	+13	+14	+13	+18	+11	+8	+11	+10	-1	-15
(順位)	132~354位	136~327位	113~228位	296~417位	95~266位	231~484位	83~244位	69~232位	463~621位	618~704位
状況変動	+6	+10	+19	-1	-15	-5	+1	-4	-33	-26
医療	+16	+17	+15	+16	+15	+12	+12	+13	+18	+15

イ. 個別指標ごとの自己診断

(ア) 現況指標

評点の合計点を時系列で見ると、16年度までは比較的高い数値を維持してきたものの、患者数の減等により、17年度に－1、そして18年度には－1.5と大きく悪化している。

(イ) 状況変動指標

評点の合計点を時系列で見ると、17年度と比べ悪化傾向は弱まっているものの、現況指標の悪化が示すように依然高いマイナスの値を示しており、経営状況はさらに悪化している。

(ウ) 医療指標

評点の合計点で見ると、非常に良い施設であることが窺える。6項目において、否（実施していない）となっており、医療提供体制の更なる充実を図ることが出来るが、実施については、当該病院の経営への影響、役割等を勘案の上検討していく必要がある。

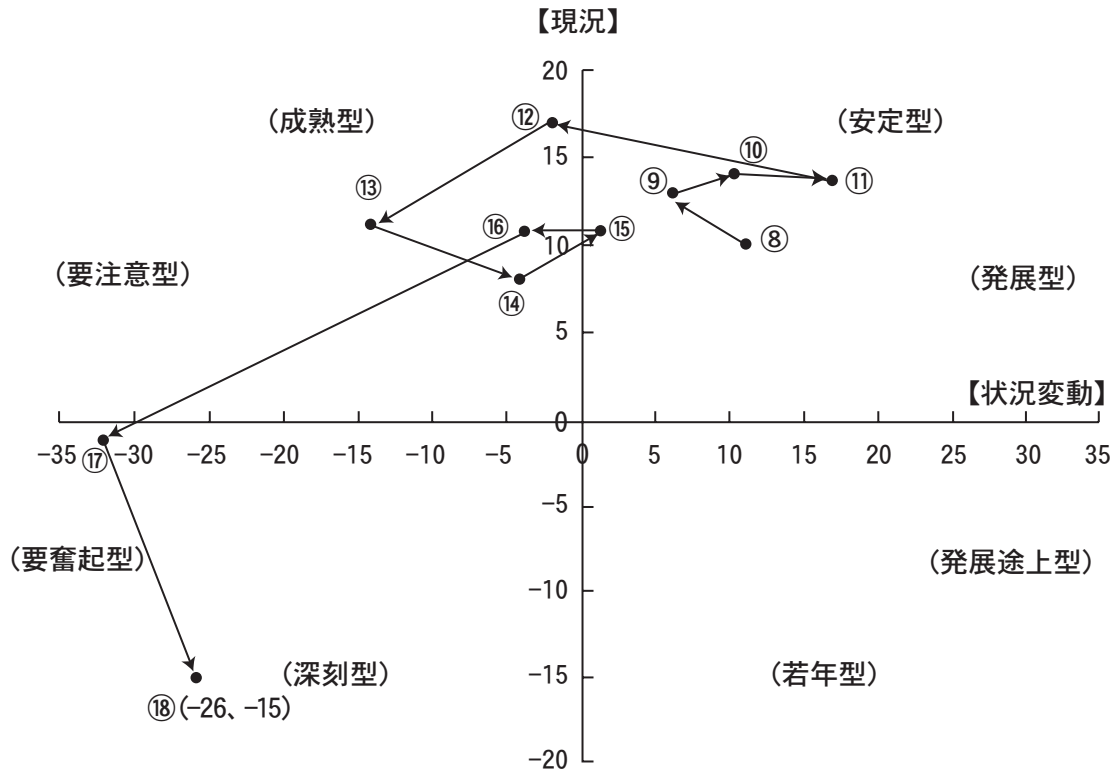
ウ. 総合自己判断

「現況指標と状況変動指標」及び「現況指標と医療指標」の関係をグラフに表すと次のとおりである。

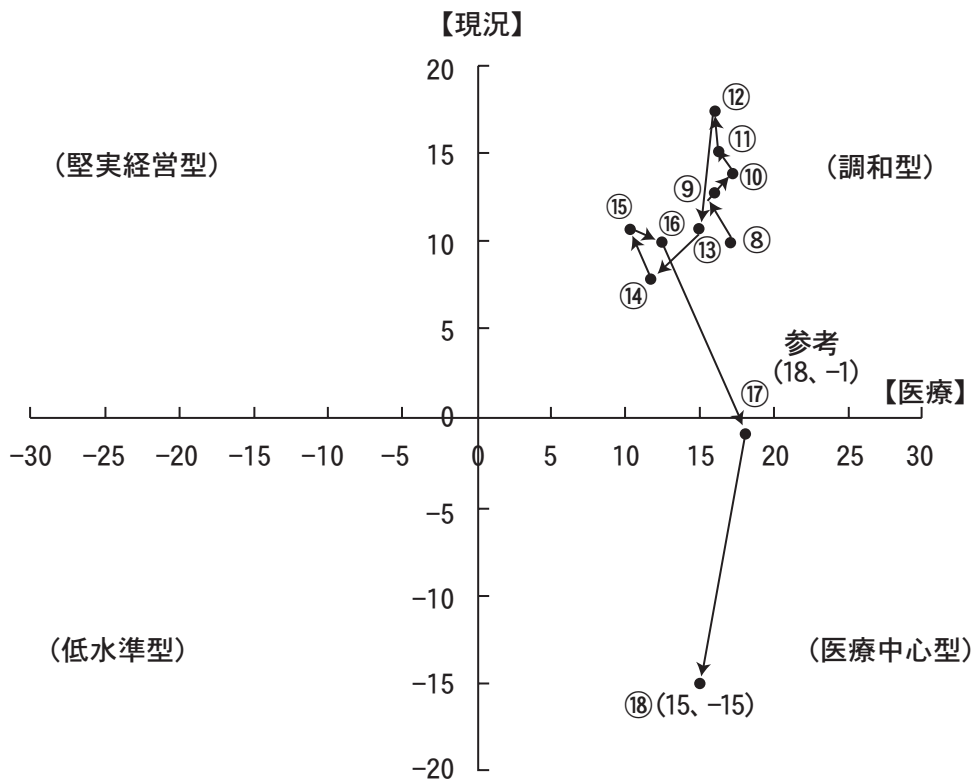
現況－状況変動のグラフは、16年度までは、状況変動指標が徐々に悪化傾向にあったものの、現況指標が良好な数値を示していたことから、ゆるやかに「発展型」→「安定型」→「成熟型」に移行していたが、17年度においては、患者数の減等により収益が大きく悪化したことにより、現況指標、状況変動指標ともにマイナスにシフトし、「要奮起型」に転落した。18年度においては、さらに経営状況が悪化し、「要奮起型」から「深刻度」に転落することとなった。

また、現況－医療のグラフは、16年度までは、「調和型」で推移してきたが、17年度からは現況指標の悪化により「医療中心型」に移行している。さらなる経営状況の悪化は、必要な医療提供体制の脆弱化に繋がりがかねないことから、更なる改善策の検討・実施が求められるところである。

時系列管理グラフ（現況指標 - 状況変動指標）



時系列管理グラフ（現況指標 - 医療指標）



別表 1 経営指標（現況）の評価結果（評点表）

区 分 項 目	平成9年度		平成10年度		平成11年度		平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		
	決 算 数 値	偏 差 値 評 点	決 算 数 値	偏 差 値 評 点	決 算 数 値	偏 差 値 評 点	決 算 数 値	偏 差 値 評 点	決 算 数 値	偏 差 値 評 点	決 算 数 値	偏 差 値 評 点	決 算 数 値	偏 差 値 評 点	決 算 数 値	偏 差 値 評 点	決 算 数 値	偏 差 値 評 点	決 算 数 値	偏 差 値 評 点	
1. 経常収支比率	107.5	17.4	106.3	12.9	107.6	16.4	111.7	21.3	106.0	12.8	100.4	5.6	100.8	5.3	103.3	9.7	98.8	3.7	90.6	-4.0	
2. 医業収支比率	96.8	4.5	95.5	3.9	96.7	6.5	98.2	6.9	93.3	2.3	87.8	-1.1	88.8	-0.5	90.1	1.3	86.0	-2.0	77.8	-6.2	
3. 流動比率	602.3	27.2	647.4	30.2	1,096.7	17.8	1,184.4	15.6	1,008.4	8.6	1,112.0	9.2	1,180.5	9.0	856.6	4.1	459.8	-2.1	938.8	5.2	
4. 医師1人1日当たり診療収入	297.6	-5.1	302.4	-4.5	313.3	-6.4	285.4	-8.8	298.8	-7.0	291.5	-6.2	299.2	-4.9	314.4	-3.1	283.7	-6.2	270	-6.6	
5. 看護師1人1日当たり診療収入	59.4	-4.5	59.8	-3.9	60.6	-2.4	54.4	-6.3	58.1	-2.6	54.0	-3.6	56.3	-0.7	55.2	-0.9	52.5	-2.7	44	-6.4	
6. 入院患者1人1日当たり診療収入	28,083	-2.4	30,501	-0.5	30,885	4.9	31,792	4.9	32,326.1	5.0	30,980.3	3.2	33,231.1	5.1	33,486.8	5.0	34,147	4.8	32,218	2.8	
7. 外来患者1人1日当たり診療収入	8,547	-2.3	7,292	-6.5	6,792	-7.2	5,295	-12.8	5,101.0	-12.8	4,988.8	-12.3	5,428.2	-10.5	6,169.6	-7.9	6,658	-6.6	7,478	-4.1	
8. 検査技師年間1人当たり検査収入	43,901	3.5	50,434	5.1	50,097	7.8	48,916	7.6	42,593.9	2.8	41,586.3	2.7	44,047.5	-0.2	34,183.1	-2.2	34,640	-2.2	24,602	-3.6	
9. 放射線技師年間1人当たり放射線収入	32,373	1.8	32,098	2.1	54,107	7.4	33,893	6.8	29,948.7	2.7	24,066.4	-1.2	27,545.0	-1.1	30,892.0	0.0	28,118	-1.1	24,916	-1.3	
10. 患者1人1日当たり医師給与費	2,945	-1.2	2,994	-0.9	2,810	-0.7	2,867	-1.4	2,853.6	-2.1	2,886.2	-0.5	2,997.9	-1.4	3,007.8	-0.9	3,428	-4.4	3,830	-7.0	
11. 患者1人1日当たり看護師給与費	5,852	2.3	6,027	1.9	5,805	0.4	5,976	-0.6	6,001.1	-0.3	6,075.6	0.1	6,201.9	-0.5	6,651.7	-1.8	7,470	-4.9	8,845	-9.5	
12. 患者1人1日当たり職員給与費	2,801	5.3	2,363	-1.5	2,817	4.4	2,839	3.8	3,035.9	1.6	3,109.1	1.2	3,142.0	0.7	3,427.9	-1.1	3,745	-3.5	4,536	-8.4	
13. 患者1人1日当たり薬品費	5,447	4.0	4,706	6.4	4,083	7.5	2,431	13.6	2,390.3	11.8	2,488.7	10.2	2,861.1	7.1	2,795.9	6.4	3,034	5.2	3,239	4.0	
14. 患者1人1日当たり経費	3,930	1.8	4,030	1.9	3,886	2.5	4,113	2.0	4,814.5	-1.3	4,723.6	0.6	4,918.6	0.8	5,070.8	1.3	5,784	-0.6	6,542	-1.7	
15. 患者1人1日当たり資本費	2,996	-1.3	2,720	0.8	2,723	-0.9	2,709	-0.5	2,672.6	-0.4	2,733.7	0.0	2,825.4	0.2	2,969.5	-0.5	3,312	-1.4	3,825	-3.1	
16. 患者100人当たり職員数	新看護等実施	61.2	0.1	60.1	0.9	58.0	0.2	61.0	1.8	62.0	-2.3	63.7	-2.0	65.9	-2.1	71.2	-4.2	78.4	-7.5	93.1	-12.9
	# 否																				
17. 患者100人当たり看護師数	新看護等実施	42.2	-1.8	41.7	-0.8	40.7	-1.5	43.0	-3.6	39.6	-1.0	41.0	1.6	42.3	2.0	45.4	0.0	49.9	-2.5	60.2	-8.1
	# 否																				
18. 給与費指数	98.3	1.5	100.4	-1.2	99.7	0.2	97.9	2.3	97.6	4.2	97.1	3.1	95.4	4.9	94.7	5.8	95.9	4.3	95.9	4.2	
19. 平均年齢	34.8	10.0	36.1	6.7	36.5	11.1	36.5	12.1	37.1	10.7	37.1	11.5	38.3	7.4	38.0	8.9	38.3	8.7	38.6	8.7	
20. 設備投資効率	1.3	6.3	1.2	6.3	3.8	19.4	1.3	1.3	1.3	2.0	1.3	3.6	1.3	3.4	1.2	3.3	0.9	-1.3	0.6	-4.8	
21. 病床利用率	84.9	-0.9	86.1	-0.5	89.3	5.8	86.4	3.5	82.1	0.6	80.7	0.3	77.1	-2.1	76.0	-2.6	69.5	-6.2	63.7	-6.3	
22. 外来入院患者比率	207.0	-0.1	207.2	-0.1	201.3	-4.4	208.4	-3.5	227.0	-1.8	228.4	-0.5	228.6	0.5	217.2	0.1	207.0	-0.3	169.7	-4.3	
23. 平均在院日数	27.0	0.4	26.0	0	23.2	2.2	21.3	3.3	18.3	5.4	21.1	2.2	19.2	3.1	16.4	5.4	16.0	6.3	16.5	4.8	
24. 医師1人1日当たり患者数	11.9	-1.8	12.1	-1.5	12.7	-6.4	12.2	-6.9	13.0	-5.1	13.2	-3.7	12.5	-3.9	12.5	-3.7	10.8	-6.0	10.1	-6.8	
25. 看護師1人1日当たり患者数	新看護等実施	2.4	-1.1	2.4	-1.3	2.5	-3.9	2.3	-5.7	2.5	-1.2	2.4	-0.5	2.4	0.0	2.2	-2.3	2.0	-4.5	1.7	-8.4
	# 否																				
26. 職員給与費対医業収益比率	51.0	3.1	53.4	1.3	53.6	4.1	55.4	2.3	58.0	0.5	61.2	-0.9	60.0	-0.3	60.5	0.3	62.3	-1.2	72.5	-5.6	
27. 薬品費対医業収益比率	20.4	1.8	17.7	4.3	15.6	8.6	9.6	14.3	9.6	12.2	10.4	9.9	11.1	7.1	10.3	7.1	10.7	5.9	11.1	5.0	
28. 経費対医業収益比率	14.7	0.9	15.2	0.6	14.8	3.5	16.3	1.9	19.3	-2.0	19.7	-1.1	19.1	0.4	18.7	2.0	20.4	0.6	22.3	0.1	
29. 資本費対医業収益比率	11.2	-2.6	10.3	-0.1	10.4	-1.0	10.8	-1.8	10.7	-1.6	11.4	-2.0	11.0	-0.7	11.0	-0.8	11.7	-1.8	13.1	-2.8	
30. 薬品使用効率	120.4	2.7	117.3	3.9	117.0	0.9	128.1	17.1	125.2	10.3	116.1	4.5	118.2	4.0	117.8	4.4	112.6	-0.6	107.9	-2.0	
31. 不良債務比率	-51.2	11.9	-61.2	15.3	-23.3	0.6	-81.4	19.2	-89.6	20.2	-99.4	21.5	-108.3	22.9	-115.6	23.9	-121.6	24.7	-110.6	20.8	
32. 企業債元利償還金対料金収入比率	9.1	-1.3	8.1	1.1	8.0	0.5	10.2	-3.3	10.2	-2.6	11.5	-3.3	4.3	8.3	10.4	0.2	11.3	-0.5	14.3	-3.0	
33. 利子負担率	6.1	-7.7	1.5	-7.1	18.2	-33.9	5.9	-9.0	5.8	-10.9	5.6	-10.8	4.8	-6.9	4.1	-4.2	2.5	4.2	2.5	4.1	
34. 患者100人当たり他会計繰入金	555.9	-5.5	537.2	-4.6	520.6	-1.4	597.6	-3.6	598.7	-3.6	576.7	-2.8	580.6	-2.9	638.5	-4.4	690.7	-5.2	816	-6.3	
計		87.0		70.6		62.6		90.2		55.1		38.5		53.5		49.0		-7.1		-73.9	
調整後(計×0.2)			+13		+14		+13		+18		+11		+8		+11		+10		-1		-15

別表2 経営指標（状況変動）の評価結果（評点表）

区 分 項 目	平成9年度		平成10年度		平成11年度		平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		
	変化率	評点	変化率	評点	変化率	評点	変化率	評点	変化率	評点	変化率	評点	変化率	評点	変化率	評点	変化率	評点	変化率	評点	
1. 経常収支比率変化率	-0.4	0	-1.2	0	1.3	+1	4.1	+2	-1.6	-1	5.6	+2	0.3	0	2.5	+2	-4.5	-2	-8.2	-2	
2. 医業収支比率変化率	1.5	+1	-1.3	0	1.2	0	1.5	0	-3.4	-2	-5.5	-2	1.0	0	1.3	+1	-4.1	-1	-8.2	-2	
3. 流動比率変化率	141.5	+2	45.1	+1	449.3	+2	87.7	+1	-176.0	-2	103.5	-1	68.5	+1	-323.9	-1	-396.8	-1	478.9	2	
4. 医師1人1日当たり診療収入変化率	-4.2	-1	1.6	0	3.6	+1	-8.9	-2	-4.6	0	-2.6	0	2.6	+1	5.1	+1	-9.8	-2	-5.0	0	
5. 看護師1人1日当たり診療収入変化率	-4.5	-1	0.7	0	1.3	0	-10.2	-2	-4.1	0	-7.0	-1	4.2	+1	-1.9	0	-4.9	-1	-15.3	-2	
6. 入院患者1人1日当たり診療収入変化率	1.3	0	8.6	+2	1.3	0	2.9	0	4.7	0	-4.2	-1	7.3	+2	0.8	0	2.0	0	-5.6	-1	
7. 外来患者1人1日当たり診療収入変化率	-4.2	-2	-14.7	-2	-6.9	-2	-0.2	0	-24.9	-2	-2.2	-1	8.8	+1	13.7	+2	7.9	+1	12.3	2	
8. 検査技師年間1人当たり検査収入変化率	-2.5	-1	14.9	+2	-0.7	0	-2.4	0	-15.0	-2	-2.4	0	5.9	+1	-22.4	-2	1.3	0	-29.0	-2	
9. 放射線技師年間1人当たり放射線収入変化率	-7.2	-1	-0.8	0	6.3	+1	-0.6	0	-12.2	-1	-19.5	-2	14.3	+1	12.1	+2	-9.0	-1	-11.4	-2	
10. 患者1人1日当たり医師給与費変化率	7.6	-1	1.7	0	-6.1	+2	2	+1	5.1	-1	-2.3	+1	3.9	-1	0.3	0	14.0	-2	11.7	-1	
11. 患者1人1日当たり看護師給与費変化率	6.6	0	3.0	0	-3.7	+1	2.9	-1	3.4	0	1.2	0	2.1	0	7.3	-1	12.3	-2	18.4	-2	
12. 患者1人1日当たり職員給与費変化率	-2.2	+1	2.2	0	-1.6	0	0.8	0	7.8	-2	2.4	0	1.1	0	9.1	-2	9.3	-2	21.1	-2	
13. 患者1人1日当たり薬品費変化率	-9.3	+2	-13.6	+2	-13.2	+2	-34.4	+2	-41.5	+2	4.1	0	15.0	-2	-2.3	0	8.5	-1	6.8	-1	
14. 患者1人1日当たり経費変化率	0.3	+1	2.5	0	-3.6	+1	5.8	+2	23.9	-2	-1.9	+1	4.1	0	3.1	0	14.1	-1	13.1	-1	
15. 患者1人1日当たり資本費変化率	-7.2	0	-9.2	+2	0.1	0	-0.5	0	-1.8	-1	2.3	0	3.4	-1	5.1	-1	11.5	-2	15.5	-1	
16. 患者100人当たり職員数変化率	2.2	0	-1.8	+1	-3.5	+1	4.9	-1	6.9	-2	2.8	0	3.4	0	8.0	-2	10.1	-2	18.7	-2	
																					新看護等実施
" 否																					
17. 患者100人当たり看護師数変化率	3.7	0	-1.2	0	-2.4	+1	5.7	-2	2.9	0	3.5	0	3.3	0	7.3	-1	9.9	-1	20.5	-2	
																					新看護等実施
" 否																					
18. 給与費指数変化率	-0.6	0	2.1	-1	-0.7	0	-1.8	+1	-2.2	+2	-0.5	0	-1.7	-1	-0.7	0	1.3	-1	-0.1	0	
19. 平均年齢																					
20. 設備投資効率変化率	0.0	+1	-0.1	-2	2.6	+2	-2.5	-2	0.0	+1	0.0	+2	-0.1	0	-0.1	-1	-0.3	-1	-0.2	0	
21. 病床利用率変化率	-0.5	0	1.2	0	3.2	+1	-2.9	-1	-7.2	-2	-1.4	0	-3.6	-1	-1.1	0	-6.5	-2	-5.8	0	
22. 外来入院患者比率																					
23. 平均在院日数																					
24. 医師1人1日当たり患者数変化率	-3.3	0	1.7	0	5.0	+1	-3.9	-1	2.3	+1	1.3	+1	-4.7	0	-0.1	0	-13.6	-2	-6.9	0	
25. 看護師1人1日当たり患者数変化率	-4.0	0	0	+1	4.2	+2	-0.1	0	2.8	+1	-3.4	0	-3.2	0	-6.8	-1	-9.0	-1	-17.0	-2	
																					新看護等実施
" 否																					
26. 職員給与費対医業収益比率変化率	1.2	0	2.4	-1	0.2	0	1.8	-1	4.4	-1	3.2	-1	-1.1	0	0.5	0	1.8	-1	10.2	-2	
27. 薬品費対医業収益比率変化率	-2.0	+1	-2.7	+2	-2.1	+1	-6	0	-6.0	+1	0.8	-1	0.7	+1	-0.8	0	0.4	0	0.4	0	
28. 経費対医業収益比率変化率	0.1	0	0.5	0	-0.4	+1	1.5	-1	4.5	-2	0.4	0	-0.6	-1	-0.4	+1	1.7	-1	1.9	0	
29. 資本費対医業収益比率変化率	-0.9	+2	-0.9	+2	0.1	0	0.4	0	0.3	-1	0.7	-1	-0.4	-1	0.0	0	0.7	-1	1.4	-1	
30. 薬品使用効率変化率	3.8	+1	-3.1	+1	-0.3	0	11.1	+2	8.2	+2	-9.1	-2	2.2	0	-0.4	0	-5.2	-2	-4.7	-1	
31. 不良債務比率																					
32. 企業債元利償還金対料金取入比率																					
33. 利子負担率																					
34. 患者100人当たり他会計繰入金変化率	-6.8	+1	-3.4	0	-3.1	0	14.8	+2	15.0	-1	-3.7	+1	0.7	0	10.0	-1	8.2	-1	18.1	-1	
計		+6		+10		+19		-1		-15		-5		+1		-4		-33		-26	

別表3 医療指標の評価結果（評点表）

区 分 項 目	平成9年度		平成10年度		平成11年度		平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	決 算 数 値	評 点	決 算 数 値	評 点	決 算 数 値	評 点	決 算 数 値	評 点	決 算 数 値	評 点	決 算 数 値	評 点	決 算 数 値	評 点	決 算 数 値	評 点	決 算 数 値	評 点	決 算 数 値	評 点
1. 患者100人当たり施設面積	9.2	0	9.1	0	8.8	0	9.0	0	9.2	0	9.3	-1	9.8	-1	10.5	-1	11.7	0	13.9	0
2. 患者100人当たり器械備品類	419,092	0	623,754	+1	378,409	-1	547,310	+1	5,611.4	+1	529,400	0	497,627	0	638,115	0	810,202	+1	857,852	+1
3. 患者100人当たり有形固定資産	2,380,009	0	2,382,742	0	2,326,404	0	2,292,130	-1	2,291,740	-1	2,336,984	0	2,555,389	0	2,837,684	0	4,112,450	+1	5,913,888	+1
4. 患者100人当たり室料差額対象病床数	15.0	0	14.8	0	14.2	0	14.7	0	15.5	0	15.0	0	13.1	0	13.8	0	15.0	0	16.5	0
5. 患者1人当たり駐車台数	0.12	0	0.13	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6. 非木造面積比率	99.9	1	99.9	1	99.9	+1	99.9	+1	99.9	+1	99.9	+1	99.9	+1	99.9	+1	99.9	+1	99.9	+1
7. 患者100人当たり医師数	8.4	1	8.2	1	7.9	+1	8.2	+1	7.7	+1	7.6	0	8.0	0	8.0	0	9.2	+1	9.9	+1
8. 入院患者1,000人当たり手術件数	14.3	0	15.0	0	13.9	+1	15.2	0	15.9	0	12.8	0	13.2	0	13.0	0	15.9	+1	14.6	0
9. 研究研修費対医薬収益比率	0.5	1	0.3	1	0.4	0	0.4	+1	0.5	+2	0.5	+2	0.5	+2	0.5	+2	0.5	+2	0.5	+2
10. 診療科目	19	2	20	+2	20	+2	20	+2	20	+2	20	+2	20	+1	20	2	20	+2	20.0	+2
11. 特殊診療	5	2	5	+2	5	+2	5	+2	5	+2	5	+2	5	+2	5	+2	5	+2	3.0	+1
12. 看護学院	実習指定	0	実習指定	0	実習指定	0	実習指定	0	実習指定	0	実習指定	0	実習指定	0	実習指定	0	実習指定	0	実習指定	0
13. 指定病院	5	1	5	1	5	+1	6	+1	6	+1	4	0	4	0	5	+1	5	+1	5.0	+1
14. 救急告示	B	1	B	1	B	+1	B	+1	B	+1	B	+1	B	+1	B	+1	B	+1	B	+1
15. 看護配置	新看護 2.5:1	2	新看護 2.5:1	2	新看護 2.5:1	2	2.5:1	+2	2.5:1	+2	2.5:1	+2	2.5:1	+2	2.5:1	+2	2.5:1	+2	13:1	+2
16. 専門外来	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0
17. 剖検率	19.7	2	11.9	+2	19.4	+2	13.6	+2	4.6	+1	1.3	+1	7.6	+2	2.8	+1	1.7	+1	0.0	0
18. 訪問看護	実施	1	実施	1	実施	+1	実施	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0
19. 在宅診療	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0
20. 公衆衛生活動・予防活動	実施	1	実施	1	実施	+1	実施	+1	実施	+1	実施	+1	実施	+1	実施	+1	実施	+1	実施	+1
21. 午後診療	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0
22. 外来予約	実施	1	実施	1	実施	1	実施	+1	実施	+1	実施	+1	実施	+1	実施	+1	実施	+1	実施	+1
23. オープンシステム	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0
24. 土曜診療	-	-	-	-	否	-	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0	否	0
計		+18		+17		+15		+16		+15		+12		+13		+13		+18		+15

5. 活用上の留意事項

- (1) この診断表は、あくまでも相対的な評価を主体としてスケールを設定しているため、点数の高低がそのまま経営の良否を判定するものではなく、当該病院の経営状況を簡便な方法で、およその状況を把握し、他の病院と比較して当該病院のどの項目に問題があるかを知り、より良い経営に向けての一つの手がかりを求めるためのものである。
- (2) この診断表に選定した指標は、「地方公営企業年鑑」から統一的に把握できるものを採用しているため、適宜、必要に応じてこれ以外に指標を追加して分析することも必要である。
- (3) この診断は、当該病院のおかれている地理的、社会的な環境などを捨象し、全一般病院を同一の基準で評価することとしているため、自己診断にあたっては、病院の特殊性などについて独自の工夫を加え診断することも必要である。
- (4) 診断にあたっては、当該年度のみでの診断に終わることなく、毎年続けて診断を行い、時系列における比較分析を行うことも必要である。
- (5) 経営指標のうち、流動比率、設備投資効率、不良債務比率及び利子負担率については、団体ごとの指標を用いているが、自己診断にあたっては病院ごとの指標に置き直すことが必要である。
- (6) この指標は一般病院のみを対象としているが、一般病院であっても結核・精神病床のウエイトが高い病院については、所要の補正を行い評価することが必要である。
- (7) この診断表は、あくまで自己診断用であり、これにより病院のランクづけを行うことを目的としたものではないことに十分留意されたい。

Ⅲ 項目の算出方法及び診断表評価スケール

(平成14年度～平成18年度)

項目の算出方法
 <現況指標>

No.	項目	算式	決算統計調査表対応算式
1	経常収支比率 (%)	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	$\frac{H(20)G(1)R(1) - H(20)G(1)R(45)}{H(20)G(1)R(23) - H(20)G(1)R(49)} \times 100$
2	医業収支比率 (%)	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$	$\frac{H(20)G(1)R(2)}{H(20)G(1)R(24)} \times 100$
3	流動比率 (%) (団体ごと)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{H(22)G(1)R(12)}{H(22)G(1)R(25)} \times 100$
4	医師 1 人 1 日 当たり 診療 収入 (千円) (~平成 5 年度 甲表、乙表別)	$\frac{\text{入院収益} + \text{外来収益}}{\text{年延医師数}}$	$\frac{H(20)G(1)R(3+4)}{H(27)G(1)R(13)}$
5	看護師 1 人 1 日 当たり 診療 収入 (千円) (~平成 5 年度 甲表、乙表別)	$\frac{\text{入院収益} + \text{外来収益}}{\text{年延看護部門職員数}}$	$\frac{H(20)G(1)R(3+4)}{H(27)G(1)R(14)}$
6	入院患者 1 人 1 日 当たり 診療 収入 (円) (~平成 5 年度 甲表、乙表別)	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	$\frac{H(20)G(1)R(3)}{H(09)G(1)R(30)} \times 1,000$
7	外来患者 1 人 1 日 当たり 診療 収入 (円) (~平成 5 年度 甲表、乙表別)	$\frac{\text{外来収益}}{\text{年延外来患者数}}$	$\frac{H(20)G(1)R(4)}{H(09)G(1)R(32)} \times 1,000$
8	検査技師年間 1 人 当たり 検査 収入 (円)	$\frac{\text{検査収入}}{\text{年度末検査技師数}}$	$\frac{H(27)G(1)R(21) + H(27)G(1)R(31)}{H(27)G(1)R(15)}$
9	放射線技師年間 1 人 当たり 放射線 収入 (千円)	$\frac{\text{放射線検査収入}}{\text{年度末放射線技師数}}$	$\frac{H(27)G(1)R(22) + H(27)G(1)R(32)}{H(27)G(1)R(16)}$
10	患者 1 人 1 日 当たり 医師 給与 費 (円)	$\frac{\text{医師給与費}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)}$	$\frac{H(25)G(1)R(20) \times 1,000}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}}$
11	患者 1 人 1 日 当たり 看護師 給与 費 (円)	$\frac{\text{看護部門職員給与費}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)}$	$\frac{\{H(25)G(1)R(31) + H(25)G(2)R(2)\} \times 1,000}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}}$
12	患者 1 人 1 日 当たり 職員 給与 費 (円)	$\frac{\text{職員給与費 (医師、看護部門を除く)}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)}$	$\frac{\{H(25)G(1)R(9) + H(25)G(2)R(13) + H(25)G(2)R(24)\} \times 1,000}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}}$
13	患者 1 人 1 日 当たり 薬品 費 (円)	$\frac{\text{薬品費}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)}$	$\frac{H(21)G(1)R(22) \times 1,000}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}}$
14	患者 1 人 1 日 当たり 経費 (円)	$\frac{\text{経費}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)}$	$\frac{H(28)G(1)R(10) \times 1,000}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}}$
15	患者 1 人 1 日 当たり 資本 費 (円)	$\frac{\text{資本費 (減価償却費 + 支払利息)}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)}$	$\frac{\{H(21)G(1)R(7) + H(21)G(1)R(11)\} \times 1,000}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}}$
16	患者 1 0 0 人 当たり 職員 数 (人) (~平成 10 年度 新看護等実施・非実施別)	$\frac{\text{年延職員数}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)} \times 100$	$\frac{H(25)G(2)R(27) \times 30 \times 100}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}}$
17	患者 1 0 0 人 当たり 看護師 数 (人) (~平成 10 年度 新看護等実施・非実施別)	$\frac{\text{年延看護部門職員数}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)} \times 100$	$\frac{H(27)G(1)R(14) \times 100}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}}$
18	給与 費 指数	$\left(\frac{\text{当該病院職員平均給与}}{\text{当該病院職員平均年齢}} \div \frac{\text{当該病院類似病院平均給与}}{\text{当該病院類似病院平均年齢}} \right) \times 100$	$\frac{\frac{H(25)G(2)R(35) \times 1,000}{H(25)G(2)R(27)} \div \frac{H(25)G(2)R(36)}{H(25)G(2)R(28)}}{\frac{\text{類似病院平均給与}}{\text{類似病院平均年齢}}} \times 100$
19	平均 年 齢 (歳)	$\frac{\text{年度末職員延年齢}}{\text{年度末職員数}}$	$\frac{H(25)G(2)R(36)}{H(25)G(2)R(28)}$
20	設備 投資 効 率 (団体ごと)	$\frac{\text{医業収益 (全病院の計)}}{\text{有形固定資産}}$	$\frac{H(20)G(1)R(2)}{H(22)G(1)R(2)}$
21	病床 利用 率 (%) (一般病床のみ)	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延稼働病床数}} \times 100$	$\frac{H(27)G(1)R(11)}{H(31)G(1)R(11)} \times 100$
22	外来 入院 患者 比 率 (%)	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}} \times 100$	$\frac{H(09)G(1)R(32)}{H(09)G(1)R(30)} \times 100$
23	平均 在 院 日 数 (日)	$\frac{\text{年延在院患者数}}{1/2 \times (\text{年度中の新入院患者数} + \text{退院患者数})}$	$H(31)G(1)R(37)$
24	医師 1 人 1 日 当たり 患者 数 (人)	$\frac{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)}{\text{年延医師数}}$	$\frac{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}}{H(27)G(1)R(13)}$

(注) 決算統計調査表対応算式中の「H」は表、「G」は行、「R」は列を表わす。

No.	項 目	算 式	決 算 統 計 調 査 表 対 応 算 式
25	看護師 1 人 1 日 当 たり 患 者 数 (人) (～平成10年度 新看護等実施・非実施別)	$\frac{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)}{\text{年延看護部門職員数}}$	$\frac{\text{H}(09)\text{G}(1)\text{R}(30) + \{0.4 \times \text{H}(09)\text{G}(1)\text{R}(32)\}}{\text{H}(27)\text{G}(1)\text{R}(14)}$
26	職員給与費対医業収益比率 (%)	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$	$\frac{\text{H}(20)\text{G}(1)\text{R}(25)}{\text{H}(20)\text{G}(1)\text{R}(2)} \times 100$
27	薬品費対医業収益比率 (%)	$\frac{\text{薬品費}}{\text{医業収益}} \times 100$	$\frac{\text{H}(21)\text{G}(1)\text{R}(22)}{\text{H}(20)\text{G}(1)\text{R}(2)} \times 100$
28	経費対医業収益比率 (%)	$\frac{\text{経 費}}{\text{医業収益}} \times 100$	$\frac{\text{H}(28)\text{G}(1)\text{R}(10)}{\text{H}(20)\text{G}(1)\text{R}(2)} \times 100$
29	資本費対医業収益比率 (%)	$\frac{\text{資本費}}{\text{医業収益}} \times 100$	$\frac{\text{H}(21)\text{G}(1)\text{R}(7) + \text{H}(21)\text{G}(1)\text{R}(11)}{\text{H}(20)\text{G}(1)\text{R}(2)} \times 100$
30	薬品使用効率 (%) (～平成5年度 甲表、乙表別)	$\frac{\text{薬品収入}}{\text{薬品費}} \times 100$	$\frac{\text{H}(27)\text{G}(1)\text{R}(37)}{\text{H}(21)\text{G}(1)\text{R}(22)} \times 100$
31	不良債務比率 (%) (団体ごと)	$\frac{\text{流動負債} - (\text{流動資産} - \text{翌年度繰越財源})}{\text{医業収益 (全病院の計)}} \times 100$	$\frac{\text{H}(22)\text{G}(1)\text{R}(25) - \{\text{H}(22)\text{G}(1)\text{R}(12) - \text{H}(23)\text{G}(1)\text{R}(14)\}}{\text{H}(20)\text{G}(1)\text{R}(2)} \times 100$
32	企業債元利償還金対料金収入比率 (%)	$\frac{\text{建設改良のための企業債元利償還金}}{\text{料 金 収 入}} \times 100$	$\frac{\text{H}(21)\text{G}(1)\text{R}(9) + \text{H}(23)\text{G}(1)\text{R}(36)}{\text{H}(20)\text{G}(1)\text{R}(3+4)} \times 100$
33	利子負担率 (%) (団体ごと)	$\frac{\text{支払利息 (全病院の計)} + \text{企業債取扱諸費 (全病院の計)}}{\text{固定負債} + \text{借入資本金} + \text{一時借入金}} \times 100$	$\frac{\text{H}(20)\text{G}(1)\text{R}(38) + (39)}{\text{H}(22)\text{G}(1)\text{R}(20) + \text{R}(21) + \text{R}(22) + \text{R}(26) + \text{R}(36)} \times 100$
34	患者 1 0 0 人 当 たり 他 会 計 繰 入 金 (千円)	$\frac{\text{他会計繰入金 (経常収益のみ)}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)} \times 100$	$\frac{\text{H}(20)\text{G}(1)\text{R}(13) + \text{R}(20) + \text{R}(21)}{\text{H}(09)\text{G}(1)\text{R}(30) + \{0.4 \times \text{H}(09)\text{G}(1)\text{R}(32)\}} \times 100$

(注) 決算統計調査表対応算式中の「H」は表、「G」は行、「R」は列を表わす。

< 状況変動指標 >

No.	項 目	算 式	変 化 率 算 出 算 式
1	経常収支比率変化率	現 況 指 標 に 同 じ	(当年データ) - (前年データ)
2	医業収支比率変化率	"	(当年データ) - (前年データ)
3	流動比率変化率	"	(当年データ) - (前年データ)
4	医師 1 人 1 日 当 たり 診 療 収 入 変 化 率 (～平成5年度 甲表、乙表別)	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
5	看護師 1 人 1 日 当 たり 診 療 収 入 変 化 率 (～平成5年度 甲表、乙表別)	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
6	入院患者 1 人 1 日 当 たり 診 療 収 入 変 化 率 (～平成5年度 甲表、乙表別)	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
7	外来患者 1 人 1 日 当 たり 診 療 収 入 変 化 率 (～平成5年度 甲表、乙表別)	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
8	検査技師年間 1 人 当 たり 検 査 収 入 変 化 率	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
9	放射線技師年間 1 人 当 たり 放 射 線 収 入 変 化 率	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
10	患者 1 人 1 日 当 たり 医 師 給 与 費 変 化 率	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
11	患者 1 人 1 日 当 たり 看 護 師 給 与 費 変 化 率	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
12	患者 1 人 1 日 当 たり 職 員 給 与 費 変 化 率	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
13	患者 1 人 1 日 当 たり 薬 品 費 変 化 率	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
14	患者 1 人 1 日 当 たり 経 費 変 化 率	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$
15	患者 1 人 1 日 当 たり 資 本 費 変 化 率	"	$\frac{\text{(当年データ)} - \text{(前年データ)}}{\text{(前年データ)}} \times 100$

No.	項目	算式	変化率算出算式
16	患者100人当たり職員数変化率 (~平成10年度 新看護等実施・非実施別)	現況指標に同じ	$\frac{(\text{当年データ}) - (\text{前年データ})}{(\text{前年データ})} \times 100$
17	患者100人当たり看護職数変化率 (~平成10年度 新看護等実施・非実施別)	"	$\frac{(\text{当年データ}) - (\text{前年データ})}{(\text{前年データ})} \times 100$
18	給与費指数変化率	"	(当年データ) - (前年データ)
19	設備投資効率変化率	"	(当年データ) - (前年データ)
20	病床利用率変化率	"	(当年データ) - (前年データ)
21	医師1人1日当たり患者数変化率	"	$\frac{(\text{当年データ}) - (\text{前年データ})}{(\text{前年データ})} \times 100$
22	看護師1人1日当たり患者数変化率 (~平成10年度 新看護等実施・非実施別)	"	$\frac{(\text{当年データ}) - (\text{前年データ})}{(\text{前年データ})} \times 100$
23	職員給与費対医業収益比率変化率	"	(当年データ) - (前年データ)
24	薬品費対医業収益比率変化率	"	(当年データ) - (前年データ)
25	経費対医業収益比率変化率	"	(当年データ) - (前年データ)
26	資本費対医業収益比率変化率	"	(当年データ) - (前年データ)
27	薬品使用効率変化率 (~平成5年度 甲表、乙表別)	"	(当年データ) - (前年データ)
28	患者100人当たり他会計繰入金変化率	"	$\frac{(\text{当年データ}) - (\text{前年データ})}{(\text{前年データ})} \times 100$

注) 。類似病院の平均給与月額、平均年齢は次のとおりである。

(上段：平均年齢(歳)、下段：平均給与月額(円))

病床規模 \ 年度	12	13	14	15	16	17	18
50床未満の病院	41.7 606,015	42.2 608,039	42.5 595,268	42.9 585,437	43.3 596,677	43.9 598,484	44.9 603,726
50床以上100床未満の病院	41.3 598,109	41.4 598,101	41.8 590,007	42.0 578,654	42.4 575,521	42.7 572,191	43.3 575,098
100床 " 200床 "	40.4 594,802	40.7 560,698	40.9 584,559	40.8 571,082	41.0 570,880	41.2 569,803	41.6 562,287
200床 " 300床 "	39.1 620,286	39.4 603,045	39.7 613,412	39.5 597,456	39.7 594,387	39.6 594,149	39.9 587,873
300床 " 400床 "	38.3 615,718	38.5 616,951	38.6 607,666	38.6 593,974	38.7 593,389	38.8 592,559	39.1 586,708
400床 " 500床 "	38.5 627,290	38.7 631,370	39.0 624,427	38.9 609,307	38.9 608,340	38.9 606,717	39.2 606,784
500床以上の病院	37.9 630,335	38.3 634,049	38.4 624,772	38.4 612,427	38.5 613,441	38.7 614,965	38.8 609,328

<医療指標>

No.	項目	算式	決算統計調査表対応算式
1	患者100人当たり施設面積 (㎡)	$\frac{\text{延面積}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)} \times 100$	$\frac{H(09)G(1)R(17)}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}} \times 100$
2	患者100人当たり器械備品額 (円)	$\frac{\text{器械、備品額}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)} \times 100$	$\frac{H(28)G(1)\{R(27) - R(31)\} \times 1,000}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}} \times 100$
3	患者100人当たり有形固定資産 (円) (団体ごと)	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{入院患者数} (\text{全病院の計}) + (\text{外来患者数} \times 0.4) (\text{全病院の計})} \times 100$	$\frac{H(22)G(1)R(2) \times 1,000}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}} \times 100$
4	患者100人当たり室料差額対象病床数 (床)	$\frac{\text{室料差額対象病床数}}{\text{入院患者数}} \times 100 \times \text{診療日数}$	$\frac{H(27)G(1)R(46)}{H(09)G(1)R(30)} \times 100 \times 365$
5	非木造面積比率 (%)	$\frac{\text{非木造面積}}{\text{延面積}} \times 100$	$\frac{H(09)G(1)R(14+15)}{H(09)G(1)R(17)} \times 100$
6	患者100人当たり医師数 (人)	$\frac{\text{年延医師数}}{\text{入院患者数} + (\text{外来患者数} \times 0.4)} \times 100$	$\frac{H(27)G(1)R(13)}{H(09)G(1)R(30) + \{0.4 \times H(09)G(1)R(32)\}} \times 100$
7	入院患者1,000人当たり手術件数 (件)	$\frac{\text{入院患者年延手術件数}}{\text{年延入院患者数}} \times 1,000$	$\frac{H(31)G(1)R(52)}{H(09)G(1)R(30)} \times 1,000$
8	研究研修費対医業収益比率 (%)	$\frac{\text{研究研修費}}{\text{医業収益}} \times 100$	$\frac{H(28)G(1)R(17)}{H(20)G(1)R(2)} \times 100$

9	剖 検 率 (%)	$\frac{\text{年延検体数}}{\text{院内死亡者数}} \times 100$	$\frac{\text{H (31) G (1) R (39)}}{\text{H (31) G (1) R (54)}} \times 100$
---	-------------	---	--

注) 決算統計調査表対応算式中「H」は表、「G」は行、「R」は列を表す。

数値以外の医療指標の評点算出

◦ 特殊診療

以下の診療のうち、実施しているものの数により評点を算出する。

人間ドック、人工透析、ICU・CCU、NICU・未熟児室、運動機能訓練室、ガン（放射線）診療

◦ 指定病院

以下について、当該病院が指定を受けている数により評点を算出する。

へき地医療拠点病院、救命救急センター、臨床研修指定病院、日本内科学会内科専門医教育施設、日本麻酔学会麻酔指導病院、日本病理学会認定病院、日本臨床検査学会認定臨床検査医研修施設、日本脳神経外科学会専門医訓練施設、（社）日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関、（社）日本医学放射線学会放射線科専門医修練協力機関、日本外科学会認定医修練施設、日本胸部外科学会認定医指定施設、日本胸部外科学会認定医関連施設、日本整形外科学会認定研修施設、日本耳鼻咽喉科学会認定専門医認可研修施設、日本眼科学会専門医認定研修施設

◦ 救急告示

救急体制の状況（A、B、B'、Cランク、無）により評点を算出する。

ランクづけは次のとおりである。

A……………11点 B……………7～10点 B' ………6点 C……………5点以下

次の各項目の合計得点により区分

1. 専用病床数	7床以上……………	3点
	4床以上7床未満……………	2点
	3床以下……………	1点
2. 待機体制	医師・看護師が各2名以上当直……………	6点
	〃 各1名以上当直……………	4点
	〃 待機……………	2点
	有事に出動……………	1点
3. 施設・設備	救急専用入口	} のうち2部門以上…………… 2点 1部門…………… 1点 なし…………… 0点
	〃 処置室	
	〃 手術室	
	救急用又は患者輸送用自動車	

◦ 専門外来

糖尿病外来、高血圧外来、乳線外来等特定の疾病についての外来診療の実施の有無による。

診断表評価スケール経営指標（現

項目	評 点	全国平均値 (M)	標準偏差 (SD)	最高値		最低値	
				数値	偏差値	数値	偏差値
1. 経常収支比率 (%)		96.9	6.3	124.4	43.4	57.5	-62.3
2. 医業収支比率 (%)		89.0	10.8	120.6	29.2	40.2	-45.1
3. 流動比率 (%)		565.3	592.7	6,117.8	93.7	10.8	-9.4
4. 医師1人1日当たり診療収入(千円)		352.5	98.8	1,059.8	71.6	112.9	-24.2
5. 看護師1人1日当たり診療収入(千円)		58.6	12.9	114.3	43.1	25.0	-26.0
6. 入院患者1人1日当たり診療収入(円)		28,187.7	8,605.3	65,260.8	43.1	9,502.9	-21.7
7. 外来患者1人1日当たり診療収入(円)		8,141.8	2,559.3	22,922.6	57.8	3,185.8	-19.4
8. 検査技師年間1人当たり検査収入(千円)		37,492.0	14,965.4	106,766.7	46.3	3,003.7	-23.0
9. 放射線技師年間1人当たり放射線収入(千円)		25,478.5	11,614.0	65,925.4	34.8	1,071.0	-21.0
10. 患者1人1日当たり医師給与費(円)		2,838.8	910.6	854.0	21.8	8,644.7	-63.8
11. 患者1人1日当たり看護師給与費(円)		6,089.5	2,243.0	1,699.0	19.6	19,059.3	-57.8
12. 患者1人1日当たり職員給与費(円)		3,231.4	1,033.7	1,061.9	21.0	8,584.6	-51.8
13. 患者1人1日当たり薬品費(円)		4,777.6	2,243.9	714.2	18.1	13,827.4	-40.3
14. 患者1人1日当たり経費(円)		4,830.0	1,908.0	1,532.6	17.3	16,716.3	-62.3
15. 患者1人1日当たり資本費(円)		2,741.7	2,005.0	188.2	12.7	15,499.8	-63.6
16. 患者100人当たり職員数(人)		60.3	17.0	20.6	23.3	162.2	-59.8
17. 患者100人当たり看護師数(人)		42.9	11.6	17.4	22.0	123.3	-69.3
18. 給与費指数		100.1	9.6	64.5	37.2	135.4	-36.9
19. 平均年齢(歳)		40.5	3.0	30.0	35.7	50.4	-33.4
20. 設備投資効率率(%)		1.1	0.7	4.9	52.3	0.1	-14.0
21. 病床利用率(%)		80.4	14.0	104.2	17.0	14.7	-46.8
22. 外来入院患者比率(%)		233.8	101.5	901.7	65.8	35.5	-19.5
23. 平均在院日数(日)		23.7	11.8	7.7	13.5	123.7	-84.8
24. 医師1人1日当たり患者数(人)		15.3	5.9	51.6	61.1	2.3	-22.1
25. 看護師1人1日当たり患者数(人)		2.5	0.6	5.7	53.9	0.5	-31.8
26. 職員給与費対医業収益比率(%)		60.0	12.9	34.4	19.8	127.6	-52.4
27. 薬品費対医業収益比率(%)		18.1	7.8	3.6	18.6	46.2	-36.1
28. 経費対医業収益比率(%)		19.0	7.3	6.5	17.1	73.6	-74.7
29. 資本費対医業収益比率(%)		10.2	6.2	1.0	14.7	46.7	-58.7
30. 薬品使用効率率(%)		111.3	10.7	164.1	49.5	61.2	-47.0
31. 不良債務比率※(%)		-27.8	33.3	-153.3	37.6	165.3	-57.9
32. 企業債元利償還金対料金収入比率(%)		9.5	6.1	0.0	15.5	43.9	-56.1
33. 利子負担率(%)		3.6	1.8	0.0	19.8	10.7	-38.4
34. 患者100人当たり他会計繰入金(千円) 計(0.2を乗じた後)		452.2	451.4	0.0	10.0	4,197.1	-83.0 -83.1

[偏差値の算式] ④ 高い(大きい)ほどよい項目..... $\frac{\text{当該団体(病院)数値}-M}{\sqrt{10}SD}$
 ⑤ 低い(小さい)ほどよい項目..... $\frac{M-\text{当該団体(病院)数値}}{\sqrt{10}SD}$

M :
 平均値
 SD :
 標準偏差

況指標) (平成14年度決算用)

(i = 当該病院の数値)

偏差値の分布					項目 番号	偏差値 の算式
$i \geq +20$	$+20 > i \geq +10$	$+10 > i \geq 0$	$0 > i \geq -10$	$-10 > i \geq -20$		
1~7	8~90	91~539	540~800	801~890	1	}
1~3	4~104	105~544	545~784	785~889	2	
1~35	36~86	87~273	274~761	-	3	
1~34	35~110	111~400	401~822	823~921	4	
1~23	24~126	127~433	434~789	790~910	5	
1~30	31~143	144~442	443~775	776~923	6	
1~29	30~116	117~418	419~796	797~925	7	
1~30	31~118	119~387	388~761	762~868	8	
1~21	22~150	151~442	443~725	726~887	9	
1~3	4~117	118~516	517~804	805~884	10	
-	1~91	92~549	550~827	828~889	11	}
1	2~121	122~524	525~797	798~876	12	
-	1~176	177~487	488~762	763~899	13	
-	1~118	119~533	534~804	805~881	14	
-	1~56	57~573	574~806	807~882	15	
1	2~90	91~524	525~825	826~884	16	
1~4	5~93	94~505	506~833	834~889	17	
1~22	23~142	143~452	453~787	788~901	18	
1~22	23~154	155~463	464~774	775~900	19	
1~37	38~108	109~297	298~692	693~759	20	
-	1~98	99~565	566~794	795~880	21	}
1~34	35~108	109~372	373~838	839~921	22	
-	1~10	11~631	632~826	827~884	23	ⓑ
1~38	39~131	132~387	388~815	816~921	24	}
1~35	36~121	122~399	400~825	826~906	25	
-	1~103	104~548	549~809	810~884	26	}
-	1~153	154~499	500~761	762~890	27	
-	1~87	88~547	548~819	820~889	28	
-	1~88	89~553	554~790	791~876	29	
1~26	27~114	115~428	429~827	828~896	30	ⓐ
1~21	22~101	102~353	354~695	696~744	31	}
-	1~123	124~525	526~804	805~887	32	
-	1~122	123~395	396~647	648~739	33	
-	1~6	7~627	628~847	848~884	34	
1~69	70~230	231~484	485~663	664~758		

※注 不良債務比率については、不良債務の有無にかかわらず資金不足額(剰余額)を医業収益で除した数値を用いた。

☆診断表評価スケール経営指標（状況変動指標）（平成14年度決算用）

項 目	評 点	+ 2 (1~150)	+ 1 (151~300)	0 (301~600)	- 1 (601~750)	- 2 (751~)
1.経常収支比率変化率(%)		$i \geq 1.0$	$1.0 > i \geq -0.3$	$-0.3 > i > -2.7$	$-2.7 \geq i > -4.7$	$-4.7 \geq i$
2.医業収支比率変化率(%)		$i \geq 1.6$	$1.6 > i \geq -0.3$	$-0.3 > i > -2.9$	$-2.4 \geq i > -5.0$	$-5.0 \geq i$
3.流動比率変化率(%)		$i \geq 143.0$	$143.0 > i \geq 30.4$	$30.4 > i > -51.0$	$-51.0 \geq i > -798.3$	$-798.3 \geq i$
4.医師1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 3.8$	$3.8 > i \geq -0.5$	$-0.5 > i > -6.6$	$-6.6 \geq i > -12.8$	$-12.8 \geq i$
5.看護師1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 3.1$	$3.1 > i \geq -1.1$	$-1.1 > i > -6.5$	$-6.5 \geq i > -12.2$	$-12.2 \geq i$
6.入院患者1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 3.3$	$3.3 > i \geq 1.3$	$1.3 > i > -1.9$	$-1.9 \geq i > -4.3$	$-4.3 \geq i$
7.外来患者1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 7.6$	$7.6 > i \geq 4.3$	$4.3 > i > -1.1$	$-1.1 \geq i > -6.0$	$-6.0 \geq i$
8.検査技師年間1人当たり検査収入変化率(%)		$i \geq 9.0$	$9.0 > i \geq 1.5$	$1.5 > i > -5.7$	$-5.7 \geq i > -11.7$	$-11.7 \geq i$
9.放射線技師年間1人当たり放射線収入変化率(%)		$i \geq 8.2$	$8.2 > i \geq 0.4$	$0.4 > i > -9.2$	$-9.2 \geq i > -15.9$	$-15.9 \geq i$
10.患者1人1日当たり医師給与費変化率(%)		$i \leq -5.3$	$-5.3 < i \leq -0.4$	$-0.4 < i < 5.3$	$5.3 \leq i < 9.6$	$9.6 \leq i$
11.患者1人1日当たり看護師給与費変化率(%)		$i \leq -2.9$	$-2.9 < i \leq 0.4$	$-0.4 < i < 4.2$	$4.2 \leq i < 7.3$	$7.3 \leq i$
12.患者1人1日当たり職員給与費変化率(%)		$i \leq -4.8$	$-4.8 < i \leq -1.4$	$-1.4 < i < 3.6$	$3.6 \leq i < 6.7$	$6.7 \leq i$
13.患者1人1日当たり薬品費変化率(%)		$i \leq -13.8$	$-13.8 < i \leq -3.6$	$-3.6 < i < 5.6$	$5.6 \leq i < 10.2$	$10.2 \leq i$
14.患者1人1日当たり経費変化率(%)		$i \leq -3.1$	$-3.1 < i \leq 1.0$	$1.0 < i < 7.8$	$7.8 \leq i < 12.2$	$12.2 \leq i$
15.患者1人1日当たり資本費変化率(%)		$i \leq -6.2$	$-6.2 < i \leq -2.1$	$-2.1 < i < 4.4$	$4.4 \leq i < 10.2$	$10.2 \leq i$
16.患者100人当たり職員数変化率(%)		$i \leq -1.9$	$-1.9 < i \leq 1.5$	$1.5 < i < 5.1$	$5.1 \leq i < 8.2$	$8.2 \leq i$
17.患者100人当たり看護師数変化率(%)		$i \leq -1.7$	$-1.7 < i \leq 2.1$	$2.1 < i < 6.8$	$6.8 \leq i < 11.6$	$11.6 \leq i$
18.給与費指数変化率(%)		$i \leq -5.7$	$-5.7 < i \leq -3.2$	$-3.2 < i < 0.1$	$0.1 \leq i < 2.1$	$2.1 \leq i$
19.平均年齢(%)						
20.設備投資効率変化率(%)		$i \geq 0.0$	-	$0.0 > i \geq -0.1$	$-0.1 \geq i > -1.1$	$-1.1 \geq i$
21.病床利用率変化率(%)		$i \geq 3.4$	$3.4 > i \geq 0.5$	$0.5 > i > -2.5$	$-2.5 \geq i > -4.7$	$-4.7 \geq i$
22.外来入院患者比率(%)						
23.平均在院日数(%)						
24.医師1人1日当たり患者数変化率(%)		$i \geq 3.8$	$3.8 > i \geq -1.3$	$-1.3 > i > -6.8$	$-6.8 \geq i > -11.3$	$-11.3 \geq i$
25.看護師1人1日当たり患者数変化率(%)		$i \geq 1.8$	$1.8 > i \geq -2.1$	$-2.1 > i > -6.4$	$-6.4 \geq i > -10.4$	$-10.4 \geq i$
26.職員給与費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -2.1$	$-2.1 < i \leq -0.4$	$-0.4 < i < 2.4$	$2.4 \leq i < 4.8$	$4.8 \leq i$
27.薬品費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -2.1$	$-2.1 < i \leq -0.6$	$-0.6 < i < 0.6$	$0.6 \leq i < 1.3$	$1.3 \leq i$
28.経費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -0.8$	$-0.8 < i \leq 0.1$	$0.1 < i < 1.2$	$1.2 \leq i < 2.2$	$2.2 \leq i$
29.資本費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -0.6$	$-0.6 < i \leq -0.2$	$-0.2 < i < 0.3$	$0.3 \leq i < 0.9$	$0.9 \leq i$
30.薬品使用効率変化率(%)		$i \geq 2.7$	$2.7 > i \geq 0.0$	$0.0 > i > -4.3$	$-4.3 \geq i > -7.5$	$-7.5 \geq i$
31.不良債務比率(%)						
32.企業債元利償還金対料金収入比率(%)						
33.利子負担率(%)						
34.患者100人当たり他会計繰入金変化率(%)		$i \leq -9.9$	$-9.9 < i \leq -3.6$	$-3.6 < i < 6.0$	$6.0 \leq i < 16.1$	$16.1 \leq i$

診断表評価スケール（医療指標）（平成14年度決算用）

(i = 当該病院の数値)

項 目 \ 評 点	+ 2 (1~150)	+ 1 (151~300)	0 (301~600)	- 1 (601~750)	- 2 (751~)
1. 患者100人当たり施設面積 (㎡)	$i \geq 14.0$	$14.0 > i \geq 12.0$	$12.0 > i \geq 9.7$	$9.7 > i \geq 8.7$	$8.7 > i$
2. 患者100人当たり器械備品額 (円)	$i \geq 856,915$	$856,915 > i \geq 582,005$	$582,005 > i \geq 346,763$	$346,763 > i \geq 255,525$	$255,525 > i$
3. 患者100人当たり有形固定資産 (円)	$i \geq 5,251,228$	$5,251,228 > i \geq 3,539,621$	$3,539,621 > i \geq 1,545,871$	$1,545,871 > i \geq 627,818$	$627,818 > i$
4. 患者100人当たり室料差額対象病床数 (床)	$i \geq 28.9$	$28.9 > i \geq 21.9$	$21.9 > i \geq 12.3$	$12.3 > i \geq 5.2$	$5.2 > i$
5. 非木造面積比率 (%)	$i = 100$	$100 > i \geq 90$	$90 > i \geq 80$	$80 > i \geq 70$	$70 > i$
6. 患者100人当たり医師数 (人)	$i \geq 9.8$	$9.8 > i \geq 8.3$	$8.3 > i \geq 6.1$	$6.1 > i \geq 5.0$	$5.0 > i$
7. 入院患者1,000人当たり手術件数 (件)	$i \geq 20.8$	$20.8 > i \geq 16.4$	$16.4 > i \geq 6.5$	$6.5 > i \geq 1.7$	$1.7 > i$
8. 研究研修費対医業収益比率 (%)	$i \geq 0.5$	$0.5 > i \geq 0.4$	$0.4 > i \geq 0.2$	-	$0.2 > i$
9. 診 療 科 目	$i \geq 11$	$11 > i \geq 8$	$8 > i \geq 4$	$4 > i \geq 3$	$3 > i$
10. 特 殊 診 療	$i \geq 4$	$i = 3$	$i = 2$	$i = 1$	$i = 0$
11. 看 護 学 校	高 看	准 看	実習指定病院	無	
12. 指 定 病 院	$i \geq 7$	$7 > i \geq 5$	$5 > i \geq 3$	$3 > i \geq 1$	$i = 0$
13. 救 急 告 示	A	B	C	D	無
14. 看 護 配 置	2:1 2.5:1	3:1	その他	否	
15. 専 門 外 来		実 施	否		
16. 剖 検 率	$i \geq 6.1$	$6.1 > i \geq 1.1$	$1.1 > i \geq 0$		
17. 訪 問 看 護		実 施	否		
18. 在 宅 診 療		実 施	否		
19. 公衆衛生活動・予防活動		実 施	否		
20. 午 後 診 療		実 施	否		
21. 外 来 予 約		実 施	否		
22. オープンシステム		実 施	否		
23. 土 曜 診 療		実 施	否		

診断表評価スケール経営指標（現

項目	評 点	全国平均値 (M)	標準偏差 (SD)	最高値		最低値	
				数値	偏差値	数値	偏差値
1. 経常収支比率 (%)		97.2	6.8	124.7	40.5	55.7	-61.0
2. 医業収支比率 (%)		89.5	11.4	123.9	30.3	41.3	-42.3
3. 流動比率 (%)		600.5	643.2	6,120.6	85.8	12.7	-9.1
4. 医師1人1日当たり診療収入 (千円)		346.0	95.5	1,005.0	69.1	116.0	-24.1
5. 看護師1人1日当たり診療収入 (千円)		57.0	13.7	122.0	47.2	5.0	-38.5
6. 入院患者1人1日当たり診療収入 (円)		28,649.0	9,072.4	70,872.0	46.5	12,820.0	-17.4
7. 外来患者1人1日当たり診療収入 (円)		8,304.0	2,737.3	23,221.0	54.5	3,052.0	-19.2
8. 検査技師年間1人当たり検査収入 (千円)		44,948.0	45,355.5	464,728.0	92.6	646.0	-9.8
9. 放射線技師年間1人当たり放射線収入 (千円)		30,721.0	29,354.0	287,228.0	87.4	177.0	-10.4
10. 患者1人1日当たり医師給与費 (円)		2,865.0	955.8	234.0	27.5	9,392.0	-68.3
11. 患者1人1日当たり看護師給与費 (円)		6,092.0	2,127.9	1,287.0	22.6	19,742.0	-64.1
12. 患者1人1日当たり職員給与費 (円)		3,218.0	1,075.5	845.0	22.1	9,838.0	-61.6
13. 患者1人1日当たり薬品費 (円)		4,523.0	2,342.0	333.0	17.9	11,880.0	-31.8
14. 患者1人1日当たり経費 (円)		5,081.0	2,098.6	1,511.0	17.0	19,424.0	-68.3
15. 患者1人1日当たり資本費 (円)		2,878.0	2,208.8	160.0	12.3	21,668.0	-85.1
16. 患者100人当たり職員数 (人)		62.1	18.2	20.1	23.1	204.7	-78.4
17. 患者100人当たり看護師数 (人)		44.7	12.1	15.5	24.2	132.8	-73.0
18. 給与費指数		100.0	9.5	54.9	47.6	138.6	-40.8
19. 平均年齢 (歳)		40.7	3.1	31.7	28.7	51.0	-33.2
20. 設備投資効率 (%)		1.0	0.7	5.8	65.8	0.2	-11.9
21. 病床利用率 (%)		80.1	14.4	108.4	19.6	9.9	-48.7
22. 外来入院患者比率 (%)		223.5	97.6	924.5	71.8	7.0	-22.2
23. 平均在院日数 (日)		21.9	8.7	5.9	18.4	99.3	-89.1
24. 医師1人1日当たり患者数 (人)		14.8	5.9	54.3	66.7	2.2	-21.3
25. 看護師1人1日当たり患者数 (人)		2.4	0.6	5.2	50.0	0.2	-37.0
26. 職員給与費対医業収益比率 (%)		59.7	13.6	34.4	18.6	137.8	-57.5
27. 薬品費対医業収益比率 (%)		16.8	7.9	0.5	20.6	41.4	-31.2
28. 経費対医業収益比率 (%)		19.4	7.3	7.4	16.5	61.6	-58.2
29. 資本費対医業収益比率 (%)		10.5	6.7	1.0	14.1	62.6	-77.1
30. 薬品使用効率 (%)		112.2	15.0	212.6	66.9	14.3	-65.2
31. 不良債務比率 ※ (%)		-29.0	34.6	-168.9	40.4	171.4	-57.8
32. 企業債元利償還金対料金収入比率 (%)		9.9	6.8	0.0	14.5	59.7	-72.9
33. 利子負担率 (%)		3.5	1.8	0.0	18.9	11.3	-42.3
34. 患者100人当たり他会計繰入金 (千円) 計 (0.2を乗じた後)		450.4	448.2	0.0	10.1	4,323.9	-86.4
				-	56.5	-	-111.0

[偏差値の算式] ④ 高い (大きい) ほどよい項目…………… $\frac{\text{当該団体 (病院) 数値} - M}{\frac{1}{10}SD}$

⑤ 低い (小さい) ほどよい項目…………… $\frac{M - \text{当該団体 (病院) 数値}}{\frac{1}{10}SD}$

M :
平均値
SD :
標準偏差

況指標) (平成15年度決算用)

(i = 当該病院の数値)

偏差値の分布					項目 番号	偏差値 の算式
$i \geq +20$	$+20 > i \geq +10$	$+10 > i \geq 0$	$0 > i \geq -10$	$-10 > i \geq -20$		
1~8	9~82	83~531	532~806	807~893	1	}
1~3	4~108	109~533	534~785	786~880	2	
1~34	35~86	87~266	267~752	-	3	
1~33	34~117	118~384	385~817	818~917	4	
1~25	26~128	129~432	433~793	794~922	5	
1~28	29~147	148~425	426~773	774~920	6	
1~30	31~119	120~420	421~797	798~920	7	
1~24	25~34	35~244	245~893	-	8	
1~26	27~35	36~357	358~905	906~911	9	
1~5	6~111	112~518	519~812	813~885	10	
1~2	3~106	107~526	527~818	819~886	11	}
1	2~107	108~534	535~803	804~877	12	
-	1~160	161~514	515~748	749~888	13	
-	1~99	100~543	544~809	810~884	14	
-	1~38	39~579	580~813	814~881	15	
1	2~89	90~530	531~825	826~886	16	
1~4	5~97	98~510	511~843	844~891	17	
1~25	26~138	139~445	446~790	791~900	18	
1~21	22~154	155~466	467~769	770~895	19	
1~36	37~100	101~300	301~709	710~754	20	
-	1~103	104~558	559~784	785~869	21	}
1~45	46~109	110~364	365~839	840~915	22	
-	1~24	25~603	604~811	812~870	23	
1~30	31~120	121~390	391~817	818~920	24	
1~37	38~129	130~401	402~828	829~903	25	
-	1~91	92~553	554~806	807~877	26	
1	2~120	121~543	544~750	751~886	27	
-	1~92	93~546	547~809	810~881	28	
-	1~68	69~561	562~797	798~885	29	
1~16	17~88	89~433	434~862	863~899	30	
1~23	24~104	105~346	347~678	679~733	31	}
-	1~106	107~533	534~809	810~886	32	
-	1~110	111~402	403~646	647~721	33	
-	1~4	5~618	619~830	831~880	34	
1~82	83~244	245~505	506~675	676~777		

※注 不良債務比率については、不良債務の有無にかかわらず資金不足額(剰余額)を医業収益で除した数値を用いた。

☆診断表評価スケール経営指標（状況変動指標）（平成15年度決算用）

項 目	評 点	+ 2 (1~150)	+ 1 (151~300)	0 (301~600)	- 1 (601~750)	- 2 (751~)
1.経常収支比率変化率(%)		$i \geq 3.6$	$3.6 > i \geq 1.7$	$1.7 > i > -0.5$	$-0.5 \geq i > -2.2$	$-2.2 \geq i$
2.医業収支比率変化率(%)		$i \geq 4.2$	$4.2 > i \geq 2.3$	$2.3 > i > -0.6$	$-0.6 \geq i > -2.4$	$-2.4 \geq i$
3.流動比率変化率(%)		$i \geq 117.6$	$117.6 > i \geq 23.0$	$23.0 > i > -61.9$	$-61.9 \geq i > -1,963.8$	
4.医師1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 6.4$	$6.4 > i \geq 2.2$	$2.2 > i > -4.0$	$-4.0 \geq i > -8.6$	$-8.6 \geq i$
5.看護師1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 5.0$	$5.0 > i \geq 1.5$	$1.5 > i > -4.2$	$-4.2 \geq i > -8.6$	$-8.6 \geq i$
6.入院患者1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 5.4$	$5.4 > i \geq 3.2$	$3.2 > i > 0.0$	$0.0 \geq i > -2.2$	$-2.2 \geq i$
7.外来患者1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 9.7$	$9.7 > i \geq 7.0$	$7.0 > i > 2.6$	$2.6 \geq i > -2.1$	$-2.1 \geq i$
8.検査技師年間1人当たり検査収入変化率(%)		$i \geq 10.6$	$10.6 > i \geq 4.1$	$4.1 > i > -3.1$	$-3.1 \geq i > -8.4$	$-8.4 \geq i$
9.放射線技師年間1人当たり放射線収入変化率(%)		$i \geq 15.4$	$15.4 > i \geq 8.1$	$8.1 > i > -2.0$	$-2.0 \geq i > -9.0$	$-9.0 \geq i$
10.患者1人1日当たり医師給与費変化率(%)		$i \leq -6.0$	$-6.0 < i \leq -1.9$	$-1.9 < i < 3.8$	$3.8 \leq i < 7.6$	$7.6 \leq i$
11.患者1人1日当たり看護師給与費変化率(%)		$i \leq -4.5$	$-4.5 < i \leq -1.2$	$-1.2 < i < 2.7$	$2.7 \leq i < 5.5$	$5.5 \leq i$
12.患者1人1日当たり職員給与変化率(%)		$i \leq -7.1$	$-7.1 < i \leq -3.4$	$-3.4 < i < 1.5$	$1.5 \leq i < 5.5$	$5.5 \leq i$
13.患者1人1日当たり薬品費変化率(%)		$i \leq -12.9$	$-12.9 < i \leq -4.2$	$-4.2 < i < 3.9$	$3.9 \leq i < 8.7$	$8.7 \leq i$
14.患者1人1日当たり経費変化率(%)		$i \leq -3.2$	$-3.2 < i \leq 0.3$	$0.3 < i < 6.6$	$6.6 \leq i < 10.9$	$10.9 \leq i$
15.患者1人1日当たり資本費変化率(%)		$i \leq -7.3$	$-7.3 < i \leq -2.9$	$-2.9 < i < 3.3$	$3.3 \leq i < 9.1$	$9.1 \leq i$
16.患者100人当たり職員数変化率(%)		$i \leq -2.3$	$-2.3 < i \leq 0.3$	$0.3 < i < 4.3$	$4.3 \leq i < 7.7$	$7.7 \leq i$
17.患者100人当たり看護師数変化率(%)		$i \leq -1.7$	$-1.7 < i \leq 1.2$	$1.2 < i < 6.1$	$6.1 \leq i < 10.1$	$10.1 \leq i$
18.給与費指数変化率(%)		$i \leq -2.8$	$-2.8 < i \leq -1.2$	$-1.2 < i < 0.8$	$0.8 \leq i < 2.4$	$2.4 \leq i$
19.平均年齢(%)						
20.設備投資効率変化率(%)		$i \geq 0.1$	$0.1 > i \geq 0.0$	$0.0 > i \geq -0.3$	$-0.3 \geq i$	-
21.病床利用率変化率(%)		$i \geq 3.9$	$3.9 > i \geq 0.9$	$0.9 > i > -2.4$	$-2.4 \geq i > -5.4$	$-5.4 \geq i$
22.外来入院患者比率(%)						
23.平均在院日数(%)						
24.医師1人1日当たり患者数変化率(%)		$i \geq 3.3$	$3.3 > i \geq -0.6$	$-0.6 > i > -5.8$	$-5.8 \geq i > -9.3$	$-9.3 \geq i$
25.看護師1人1日当たり患者数変化率(%)		$i \geq 1.7$	$1.7 > i \geq -1.2$	$-1.2 > i > -5.8$	$-5.8 \geq i > -9.1$	$-9.1 \geq i$
26.職員給与費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -4.0$	$-4.0 < i \leq -2.2$	$-2.2 < i < 0.6$	$0.6 \leq i < 2.7$	$2.7 \leq i$
27.薬品費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -2.2$	$-2.2 < i \leq -1.0$	$-1.0 < i < 0.0$	$0.0 \leq i < 0.7$	$0.7 \leq i$
28.経費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -1.1$	$-1.1 < i \leq -0.4$	$-0.4 < i < 0.7$	$0.7 \leq i < 1.7$	$1.7 \leq i$
29.資本費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -1.0$	$-1.0 < i \leq -0.5$	$-0.5 < i < 0.1$	$0.1 \leq i < 0.6$	$0.6 \leq i$
30.薬品使用効率変化率(%)		$i \geq 6.9$	$6.9 > i \geq 3.5$	$3.5 > i > -0.3$	$-0.3 \geq i > -2.8$	$-2.8 \geq i$
31.不良債務比率(%)						
32.企業債元利償還金対料金収入比率(%)						
33.利子負担率(%)						
34.患者100人当たり他会計繰入金変化率(%)		$i \leq -13.0$	$-13.0 < i \leq -5.0$	$-5.0 < i < 3.0$	$3.0 \leq i < 12.0$	$12.0 \leq i$

診断表評価スケール（医療指標）（平成15年度決算用）

(i = 当該病院の数値)

項 目 \ 評 点	+ 2 (1~150)	+ 1 (151~300)	0 (301~600)	- 1 (601~750)	- 2 (751~)
1. 患者100人当たり施設面積 (㎡)	$i \geq 14.8$	$14.8 > i \geq 12.5$	$12.5 > i \geq 10.2$	$10.2 > i \geq 9.0$	$9.0 > i$
2. 患者100人当たり器械備品額 (円)	$i \geq 880,853$	$880,853 > i \geq 599,037$	$599,037 > i \geq 359,882$	$359,882 > i \geq 252,966$	$252,966 > i$
3. 患者100人当たり有形固定資産 (円)	$i \geq 5,538,143$	$5,538,143 > i \geq 3,696,060$	$3,696,060 > i \geq 1,634,753$	$1,634,753 > i \geq 482,819$	$482,819 > i$
4. 患者100人当たり室料差額対象病床数 (床)	$i \geq 28.5$	$28.5 > i \geq 21.8$	$21.8 > i \geq 12.5$	$12.5 > i \geq 5.3$	$5.3 > i$
5. 非木造面積比率 (%)	$i = 100$	$100 > i \geq 90$	$90 > i \geq 80$	$80 > i \geq 70$	$70 > i$
6. 患者100人当たり医師数 (人)	$i \geq 10.0$	$10.0 > i \geq 8.4$	$8.4 > i \geq 6.3$	$6.3 > i \geq 5.2$	$5.2 > i$
7. 入院患者1,000人当たり手術件数 (件)	$i \geq 21.3$	$21.3 > i \geq 16.5$	$16.5 > i \geq 6.0$	$6.0 > i \geq 1.2$	$1.2 > i$
8. 研究研修費対医業収益比率 (%)	$i \geq 0.5$	$0.5 > i \geq 0.3$	$0.3 > i \geq 0.2$	-	$0.2 > i$
9. 診療科目	$i \geq 11$	$11 > i \geq 8$	$8 > i \geq 4$	$4 > i \geq 3$	$3 > i$
10. 特殊診療	$i \geq 4$	$i = 3$	$i = 2$	$i = 1$	$i = 0$
11. 看護学校	高看	准看	実習指定病院	無	
12. 指定病院	$i \geq 7$	$7 > i \geq 5$	$5 > i \geq 3$	$3 > i \geq 1$	$i = 0$
13. 救急告示	A	B	C	D	無
14. 看護配置	2:1 2.5:1	3:1	その他	否	
15. 専門外来		実施	否		
16. 剖検率	$i \geq 4.7$	$4.7 > i \geq 1.1$	$1.1 > i \geq 0.0$		
17. 訪問看護		実施	否		
18. 在宅診療		実施	否		
19. 公衆衛生活動・予防活動		実施	否		
20. 午後診療		実施	否		
21. 外来予約		実施	否		
22. オープンシステム		実施	否		
23. 土曜診療		実施	否		

診断表評価スケール経営指標（現

項目	評 点	全国平均値 (M)	標準偏差 (SD)	最高値		最低値	
				数値	偏差値	数値	偏差値
1. 経常収支比率 (%)		96.1	7.4	117.5	29.0	55.4	-55.0
2. 医業収支比率 (%)		88.6	11.4	119.8	27.4	44.3	-38.8
3. 流動比率 (%)		593.6	637.1	6,323.3	89.9	12.1	-9.1
4. 医師1人1日当たり診療収入(千円)		344	96.3	998	67.9	92	-26.2
5. 看護師1人1日当たり診療収入(千円)		57	13.6	123	48.7	12	-32.8
6. 入院患者1人1日当たり診療収入(円)		28,762	9,376.1	77,909	52.4	11,858	-18.0
7. 外来患者1人1日当たり診療収入(円)		8,362	2,792.0	23,452	54.0	3,335	-18.0
8. 検査技師年間1人当たり検査収入(千円)		44,931	48,017.8	455,177	85.4	2,671	-8.8
9. 放射線技師年間1人当たり放射線収入(千円)		30,737	31,159.8	272,713	77.7	435	-9.7
10. 患者1人1日当たり医師給与費(円)		2,915	990.2	105	28.4	8,292	-54.3
11. 患者1人1日当たり看護師給与費(円)		6,245	2,209.7	817	24.6	18,625	-56.0
12. 患者1人1日当たり職員給与費(円)		3,295	1,245.9	923	19.0	12,477	-73.7
13. 患者1人1日当たり薬品費(円)		4,310	2,348.1	386	16.7	12,295	-34.0
14. 患者1人1日当たり経費(円)		5,368	2,254.0	1,392	17.6	21,039	-69.5
15. 患者1人1日当たり資本費(円)		2,880	1,947.9	176	13.9	13,302	-53.5
16. 患者100人当たり職員数(人)		63.4	18.8	17.5	24.4	178.1	-61.0
17. 患者100人当たり看護師数(人)		45.4	12.0	14.1	26.2	120.6	-62.9
18. 給与費指数		100.1	9.3	70.9	31.4	139.7	-42.5
19. 平均年齢(歳)		40.9	3.2	32.2	27.2	52.0	-34.6
20. 設備投資効率率(%)		1.0	0.7	5.2	65.5	0.2	-12.1
21. 病床利用率(%)		79.8	14.5	110.8	21.4	19.3	-41.7
22. 外来入院患者比率(%)		216.4	94.0	899.8	72.7	7.9	-22.2
23. 平均在院日数(日)		22.1	10.4	6.8	14.6	120.3	-94.3
24. 医師1人1日当たり患者数(人)		14.9	6.3	52.9	60.0	2.4	-19.7
25. 看護師1人1日当たり患者数(人)		2.3	0.6	5.6	55.3	0.6	-29.6
26. 職員給与費対医業収益比率(%)		61.0	14.7	34.6	18.0	167.3	-72.5
27. 薬品費対医業収益比率(%)		15.8	7.7	0.6	19.8	47.1	-40.7
28. 経費対医業収益比率(%)		20.2	7.1	6.7	18.9	59.1	-54.6
29. 資本費対医業収益比率(%)		10.5	6.0	0.9	15.9	36.7	-43.6
30. 薬品使用効率率(%)		112.7	11.6	173.1	52.1	51.3	-52.8
31. 不良債務比率※(%)		-29.4	36.0	-176.0	40.7	143.7	-48.1
32. 企業債元利償還金対料金収入比率(%)		10.5	7.2	0.0	14.7	53.9	-60.7
33. 利子負担率(%)		3.3	1.8	0.0	18.6	10.9	-42.6
34. 患者100人当たり他会計繰入金(千円)		445.4	437.9	0.0	10.2	3,594.0	-71.9
計(0.2を乗じた後)				-	52.8	-	-87.2

[偏差値の算式] ④ 高い(大きい)ほどよい項目..... $\frac{\text{当該団体(病院)数値} - M}{\sqrt{10}SD}$

⑤ 低い(小さい)ほどよい項目..... $\frac{M - \text{当該団体(病院)数値}}{\sqrt{10}SD}$

M :
平均値
SD :
標準偏差

況指標) (平成16年度決算用)

(i = 当該病院の数値)

偏差値の分布					項目 番号	偏差値 の算式
$i \geq +20$	$+20 > i \geq +10$	$+10 > i \geq 0$	$0 > i \geq -10$	$-10 > i \geq -20$		
1~6	7~86	87~546	547~794	795~882	1	}
1~3	4~123	124~528	529~775	776~877	2	
1~29	30~86	87~266	267~726	-	3	
1~33	34~120	121~376	377~816	817~912	4	
1~31	32~122	123~428	429~783	784~905	5	
1~29	30~143	144~415	416~768	769~917	6	
1~36	37~124	125~394	395~797	798~917	7	
1~29	30~36	37~241	242~887	-	8	
1~28	29~35	36~345	346~906	-	9	
1~5	6~110	111~519	520~789	790~877	10	
1~4	5~105	106~527	528~815	816~881	11	}
-	1~77	78~554	555~815	816~878	12	
-	1~148	149~530	531~745	746~883	13	
-	1~99	100~536	537~800	801~880	14	
-	1~76	77~554	555~789	790~863	15	
1	2~92	93~528	529~820	821~877	16	}
1~11	12~106	107~522	523~821	822~884	17	
1~26	27~147	148~451	452~776	777~897	18	
1~17	18~144	145~474	475~773	774~892	19	}
1~40	41~89	90~280	281~673	674~726	20	
1~4	5~110	111~547	548~769	770~857	21	}
1~42	43~108	109~361	362~839	840~912	22	
-	1~9	10~609	610~835	836~879	23	(B)
1~32	33~117	118~390	391~805	806~918	24	}
1~31	32~120	121~390	391~820	821~901	25	
-	1~80	81~547	548~799	800~872	26	}
-	1~104	105~564	565~754	755~884	27	
-	1~116	117~535	536~780	781~876	28	
-	1~104	105~544	545~771	772~870	29	}
1~23	24~115	116~441	442~819	820~884	30	
1~22	23~98	99~334	335~653	654~709	31	(A)
-	1~105	106~544	545~809	810~880	32	}
-	1~106	107~381	382~622	623~693	33	
-	1~4	5~620	621~834	835~879	34	
1~68	69~232	233~489	490~674	675~770		

※注 不良債務比率については、不良債務の有無にかかわらず資金不足額(剰余額)を医業収益で除した数値を用いた。

☆診断表評価スケール経営指標（状況変動指標）（平成16年度決算用）

項 目	評 点	+ 2 (1~150)	+ 1 (151~300)	0 (301~600)	- 1 (601~750)	- 2 (751~)
1.経常収支比率変化率(%)		$i \geq 2.1$	$2.1 > i \geq 0.4$	$0.4 > i > -1.8$	$-1.8 \geq i > -3.9$	$-3.9 \geq i$
2.医業収支比率変化率(%)		$i \geq 2.7$	$2.7 > i \geq 0.7$	$0.7 > i > -2.0$	$-2.0 \geq i > -3.9$	$-3.9 \geq i$
3.流動比率変化率(%)		$i \geq 77.6$	$77.6 > i \geq 5.9$	$5.9 > i > -130.0$	$-130.0 \geq i$	-
4.医師1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 8.6$	$8.6 > i \geq 2.3$	$2.3 > i > -4.1$	$-4.1 \geq i > -8.3$	$-8.3 \geq i$
5.看護師1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 5.7$	$5.7 > i \geq 1.5$	$1.5 > i > -3.7$	$-3.7 \geq i > -7.8$	$-7.8 \geq i$
6.入院患者1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 3.9$	$3.9 > i \geq 1.4$	$1.4 > i > -1.4$	$-1.4 \geq i > -3.5$	$-3.5 \geq i$
7.外来患者1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 7.5$	$7.5 > i \geq 4.7$	$4.7 > i > 0.6$	$0.6 \geq i > -2.7$	$-2.7 \geq i$
8.検査技師年間1人当たり検査収入変化率(%)		$i \geq 8.1$	$8.1 > i \geq 1.3$	$1.3 > i > -6.5$	$-6.5 \geq i > -12.5$	$-12.5 \geq i$
9.放射線技師年間1人当たり放射線収入変化率(%)		$i \geq 9.9$	$9.9 > i \geq 2.4$	$2.4 > i \geq -6.9$	$-6.9 \geq i > -14.7$	$-14.7 \geq i$
10.患者1人1日当たり医師給与費変化率(%)		$i \leq -6.4$	$-6.4 < i \leq -1.4$	$-1.4 < i < 4.4$	$4.4 \leq i < 8.5$	$8.5 \leq i$
11.患者1人1日当たり看護師給与費変化率(%)		$i \leq -3.2$	$-3.2 < i \leq 0.0$	$0.0 < i < 4.7$	$4.7 \leq i < 7.9$	$7.9 \leq i$
12.患者1人1日当たり職員給与変化率(%)		$i \leq -6.0$	$-6.0 < i \leq -1.7$	$-1.7 < i < 3.6$	$3.6 \leq i < 7.7$	$7.7 \leq i$
13.患者1人1日当たり薬品費変化率(%)		$i \leq -12.5$	$-12.5 < i \leq -5.4$	$-5.4 < i < 2.4$	$2.4 \leq i < 6.6$	$6.6 \leq i$
14.患者1人1日当たり経費変化率(%)		$i \leq -3.8$	$-3.8 < i \leq 1.2$	$1.2 < i < 7.7$	$7.7 \leq i < 13.3$	$13.3 \leq i$
15.患者1人1日当たり資本費変化率(%)		$i \leq -9.5$	$-9.5 < i \leq -4.1$	$-4.1 < i < 2.5$	$2.5 \leq i < 8.0$	$8.0 \leq i$
16.患者100人当たり職員数変化率(%)		$i \leq -3.4$	$-3.4 < i \leq -0.5$	$-0.5 < i < 3.6$	$3.6 \leq i < 7.3$	$7.3 \leq i$
17.患者100人当たり看護師数変化率(%)		$i \leq -4.5$	$-4.5 < i \leq -0.8$	$-0.8 < i < 4.4$	$4.4 \leq i < 8.0$	$8.0 \leq i$
18.給与費指数変化率(%)		$i \leq -3.1$	$-3.1 < i \leq -1.2$	$-1.2 < i < 0.8$	$0.8 \leq i < 2.5$	$2.5 \leq i$
19.平均年齢(%)						
20.設備投資効率変化率(%)		$i \geq 0.0$	-	$0.0 > i > -0.1$	$-0.1 \geq i$	-
21.病床利用率変化率(%)		$i \geq 3.8$	$3.8 > i \geq 1.0$	$1.0 > i > -1.9$	$-1.9 \geq i > -4.8$	$-4.8 \geq i$
22.外来入院患者比率(%)						
23.平均在院日数(%)						
24.医師1人1日当たり患者数変化率(%)		$i \geq 8.3$	$8.3 > i \geq 1.0$	$1.0 > i > -4.7$	$-4.7 \geq i > -8.3$	$-8.3 \geq i$
25.看護師1人1日当たり患者数変化率(%)		$i \geq 4.7$	$4.7 > i \geq 0.7$	$0.7 > i > -4.3$	$-4.3 \geq i > -7.6$	$-7.6 \geq i$
26.職員給与費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -2.3$	$-2.3 < i \leq -0.6$	$-0.6 < i < 2.0$	$2.0 \leq i < 4.4$	$4.4 \leq i$
27.薬品費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -1.8$	$-1.8 < i \leq -0.9$	$-0.9 < i < 0.1$	$0.1 \leq i < 0.7$	$0.7 \leq i$
28.経費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -0.9$	$-0.9 < i \leq 0.0$	$0.0 < i < 1.3$	$1.3 \leq i < 2.4$	$2.4 \leq i$
29.資本費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -1.0$	$-1.0 < i \leq -0.4$	$-0.4 < i < 0.1$	$0.1 \leq i < 0.7$	$0.7 \leq i$
30.薬品使用効率変化率(%)		$i \geq 6.1$	$6.1 > i \geq 2.3$	$2.3 > i > -1.2$	$-1.2 \geq i > -4.2$	$-4.2 \geq i$
31.不良債務比率(%)						
32.企業債元利償還金対料金収入比率(%)						
33.利子負担率(%)						
34.患者100人当たり他会計繰入金変化率(%)		$i \leq -15.1$	$-15.1 < i \leq -6.2$	$-6.2 < i < 3.5$	$3.5 \leq i < 13.4$	$13.4 \leq i$

診断表評価スケール（医療指標）（平成16年度決算用）

(i = 当該病院の数値)

項 目 \ 評 点	+ 2 (1~150)	+ 1 (151~300)	0 (301~600)	- 1 (601~750)	- 2 (751~)
1. 患者100人当たり施設面積 (㎡)	$i \geq 15.8$	$15.8 > i \geq 13.1$	$13.1 > i \geq 10.7$	$10.7 > i \geq 9.5$	$9.5 > i$
2. 患者100人当たり器械備品額 (円)	$i \geq 959,953$	$959,953 > i \geq 650,516$	$650,516 > i \geq 361,487$	$361,487 > i \geq 257,351$	$257,351 > i$
3. 患者100人当たり有形固定資産 (円)	$i \geq 5,718,852$	$5,718,852 > i \geq 3,748,803$	$3,748,803 > i \geq 1,692,289$	$1,692,289 > i$	-
4. 患者100人当たり室料差額対象病床数 (床)	$i \geq 29.4$	$29.4 > i \geq 22.4$	$22.4 > i \geq 12.9$	$12.9 > i \geq 5.8$	$5.8 > i$
5. 非木造面積比率 (%)	$i = 100.0$	$100 > i \geq 90$	$90 > i \geq 80$	$80 > i \geq 70$	$70 > i$
6. 患者100人当たり医師数 (人)	$i \geq 10.8$	$10.8 > i \geq 8.6$	$8.6 > i \geq 6.2$	$6.2 > i \geq 5.1$	$5.1 > i$
7. 入院患者1,000人当たり手術件数 (件)	$i \geq 21.1$	$21.1 > i \geq 16.1$	$16.1 > i \geq 5.8$	$5.8 > i \geq 1.0$	$1.0 > i$
8. 研究研修費対医業収益比率 (%)	$i \geq 0.5$	$0.5 > i \geq 0.4$	$0.4 > i \geq 0.2$	-	$0.2 > i$
9. 診療科目	$i \geq 11$	$11 > i \geq 8$	$8 > i \geq 4$	$4 > i \geq 3$	$3 > i$
10. 特殊診療	$i \geq 4$	$i = 3$	$i = 2$	$i = 1$	$i = 0$
11. 看護学校	高看	准看	実習指定病院	無	
12. 指定病院	$i \geq 7$	$7 > i \geq 5$	$5 > i \geq 3$	$3 > i \geq 1$	$i = 0$
13. 救急告示	A	B	B ¹	C	無
14. 看護配置	2:1 2.5:1	3:1	その他	否	
15. 専門外来		実施	否		
16. 剖検率	$i \geq 4.1$	$4.1 > i \geq 1.1$	$1.1 > i \geq 0.0$		
17. 訪問看護		実施	否		
18. 在宅診療		実施	否		
19. 公衆衛生活動・予防活動		実施	否		
20. 午後診療		実施	否		
21. 外来予約		実施	否		
22. オープンシステム		実施	否		
23. 土曜診療		実施	否		

診断表評価スケール経営指標（現

項目	評 点	全国平均値 (M)	標準偏差 (SD)	最高値		最低値	
				数値	偏差値	数値	偏差値
1. 経常収支比率 (%)		96.0	7.6	124.7	37.8	52.3	-57.5
2. 医業収支比率 (%)		88.3	11.7	120.0	26.8	32.0	-48.2
3. 流動比率 (%)		594.3	629.5	4,473.9	61.6	11.6	-9.3
4. 医師1人1日当たり診療収入(千円)		345	97.8	824	49.0	90	-26.1
5. 看護師1人1日当たり診療収入(千円)		56	13.4	107	38.0	14	-31.0
6. 入院患者1人1日当たり診療収入(円)		29,297	10,028.9	85,429	56.0	12,566	-16.7
7. 外来患者1人1日当たり診療収入(円)		8,637	3,005.1	25,034	54.6	3,358	-17.6
8. 検査技師年間1人当たり検査収入(千円)		47,719	60,610.2	571,130	86.4	1,290	-7.7
9. 放射線技師年間1人当たり放射線収入(千円)		32,303	36,512.7	333,187	82.4	302	-8.8
10. 患者1人1日当たり医師給与費(円)		2,971	1,035.3	451	24.3	9,027	-58.5
11. 患者1人1日当たり看護師給与費(円)		6,380	2,213.9	1,381	22.6	20,091	-61.9
12. 患者1人1日当たり職員給与費(円)		3,323	1,196.6	1,097	18.6	12,709	-78.4
13. 患者1人1日当たり薬品費(円)		4,314	2,480.5	222	16.5	15,141	-43.6
14. 患者1人1日当たり経費(円)		5,656	2,316.8	1,425	18.3	19,680	-60.5
15. 患者1人1日当たり資本費(円)		3,010	2,144.8	167	13.3	17,982	-69.8
16. 患者100人当たり職員数(人)		64.5	18.6	17.0	25.6	185.4	-65.1
17. 患者100人当たり看護師数(人)		46.9	12.2	17.8	23.7	131.4	-69.2
18. 給与費指数		100.0	9.6	60.7	41.0	135.5	-36.9
19. 平均年齢(歳)		41.1	3.2	32.3	27.5	51.3	-32.0
20. 設備投資効率(%)		0.9	0.6	4.6	60.1	0.1	-13.7
21. 病床利用率(%)		79.0	15.2	107.5	18.8	11.7	-44.3
22. 外来入院患者比率(%)		210.0	88.0	844.6	72.1	6.8	-23.1
23. 平均在院日数(日)		21.4	8.6	7.0	16.9	90.6	-80.8
24. 医師1人1日当たり患者数(人)		14.6	6.3	56.0	65.3	2.3	-19.4
25. 看護師1人1日当たり患者数(人)		2.3	0.6	5.6	58.2	0.6	-29.2
26. 職員給与費対医業収益比率(%)		60.6	13.8	30.9	21.4	122.1	-44.4
27. 薬品費対医業収益比率(%)		15.3	7.7	0.7	19.0	47.6	-41.8
28. 経費対医業収益比率(%)		20.9	7.5	6.0	19.7	66.3	-60.3
29. 資本費対医業収益比率(%)		10.6	6.0	0.9	16.2	37.6	-45.3
30. 薬品使用効率(%)		113.4	14.2	167.8	38.4	12.9	-70.8
31. 不良債務比率※(%)		-28.4	37.8	-179.5	40.0	194.2	-58.9
32. 企業債元利償還金対料金収入比率(%)		10.9	7.3	0.0	15.0	58.7	-65.7
33. 利子負担率(%)		3.2	1.7	0.0	19.5	10.1	-41.4
34. 患者100人当たり他会計繰入金(千円)		459.7	443.8	0.0	10.4	3,570.9	-70.1
計(0.2を乗じた後)				-	60.8	-	-102.3

[偏差値の算式] ④ 高い(大きい)ほどよい項目..... $\frac{\text{当該団体(病院)数値}-M}{\sqrt{10}SD}$

⑤ 低い(小さい)ほどよい項目..... $\frac{M-\text{当該団体(病院)数値}}{\sqrt{10}SD}$

M :
平均値
SD :
標準偏差

況指標) (平成17年度決算用)

(i = 当該病院の数値)

偏差値の分布					項目 番号	偏差値 の算式
$i \geq +20$	$+20 > i \geq +10$	$+10 > i \geq 0$	$0 > i \geq -10$	$-10 > i \geq -20$		
1~6	7~85	86~518	519~777	778~862	1	}
1~4	5~116	117~527	528~762	763~858	2	
1~31	32~87	88~234	235~670	-	3	
1~37	38~125	126~382	383~798	799~892	4	
1~34	35~136	137~424	425~773	774~888	5	
1~23	24~146	147~406	407~767	768~899	6	
1~34	35~115	116~397	398~777	778~897	7	
1~31	32~33	34~200	201~872	-	8	
1~32	33~36	37~313	314~888	-	9	
1~6	7~124	125~509	510~779	780~861	10	}
1~2	3~112	113~499	500~794	795~871	11	
-	1~88	89~524	525~795	796~857	12	
-	1~135	136~530	531~740	741~861	13	
-	1~96	97~525	526~786	787~864	14	
-	1~65	66~554	555~798	799~857	15	
1~4	5~103	104~503	504~798	799~866	16	}
1~4	5~105	106~507	508~799	800~869	17	
1~16	17~144	145~434	435~771	772~878	18	
1~14	15~148	149~468	469~752	753~871	19	}
1~39	40~91	92~264	265~622	623~672	20	
-	1~105	106~531	532~746	747~840	21	}
1~42	43~105	106~352	353~817	818~890	22	
-	1~27	28~565	566~788	789~848	23	(B)
1~30	31~128	129~388	389~781	782~897	24	}
1~38	39~114	115~386	387~803	804~886	25	
1~2	3~96	97~528	529~774	775~853	26	}
-	1~85	86~574	575~741	742~857	27	
-	1~103	104~517	518~785	786~855	28	
-	1~113	114~529	530~760	761~854	29	}
1~19	20~107	108~447	448~836	837~869	30	
1~21	22~86	87~309	310~612	613~656	31	(A)
-	1~98	99~518	519~795	796~867	32	}
-	1~81	82~360	361~583	584~643	33	
-	1~5	6~596	597~809	810~863	34	
1~114	115~268	269~462	463~621	622~704		

※注 不良債務比率については、不良債務の有無にかかわらず資金不足額(剰余額)を医業収益で除した数値を用いた。

☆診断表評価スケール経営指標（状況変動指標）（平成17年度決算用）

項 目	評 点	+ 2 (1~150)	+ 1 (151~300)	0 (301~600)	- 1 (601~750)	- 2 (751~)
1.経常収支比率変化率(%)		$i \geq 3.0$	$3.0 > i \geq 1.0$	$1.0 > i > -1.6$	$-1.6 > i \geq -4.0$	$-4.0 \geq i$
2.医業収支比率変化率(%)		$i \geq 3.4$	$3.4 > i \geq 1.1$	$1.1 > i > -1.6$	$-1.6 > i \geq -4.1$	$-4.1 \geq i$
3.流動比率変化率(%)		$i \geq 82.8$	$82.8 > i \geq 2.6$	$2.6 > i > -349.0$	$-349.0 \geq i$	—
4.医師1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 9.8$	$9.8 > i \geq 3.8$	$3.8 > i > -3.0$	$-3.0 > i \geq -8.5$	$-8.5 \geq i$
5.看護師1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 6.4$	$6.4 > i \geq 2.5$	$2.5 > i > -3.5$	$-3.5 > i \geq -7.9$	$-7.9 \geq i$
6.入院患者1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 5.0$	$5.0 > i \geq 2.7$	$2.7 > i > -0.3$	$-0.3 > i \geq -2.6$	$-2.6 \geq i$
7.外来患者1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 10.4$	$10.4 > i \geq 6.8$	$6.8 > i > 2.6$	$2.6 > i \geq -0.6$	$-0.6 \geq i$
8.検査技師年間1人当たり検査収入変化率(%)		$i \geq 9.4$	$9.4 > i \geq 3.7$	$3.7 > i > -5.1$	$-5.1 > i \geq -12.0$	$-12.0 \geq i$
9.放射線技師年間1人当たり放射線収入変化率(%)		$i \geq 11.1$	$11.1 > i \geq 4.0$	$4.0 > i > -5.8$	$-5.8 > i \geq -13.6$	$-13.6 \geq i$
10.患者1人1日当たり医師給与費変化率(%)		$i \leq -7.4$	$-7.4 < i \leq -1.6$	$-1.6 < i < 5.5$	$5.5 < i \leq 10.2$	$10.2 \geq i$
11.患者1人1日当たり看護師給与費変化率(%)		$i \leq -3.7$	$-3.7 < i \leq -0.4$	$-0.4 < i < 4.7$	$4.7 < i \leq 8.5$	$8.5 \geq i$
12.患者1人1日当たり職員給与費変化率(%)		$i \leq -5.6$	$-5.6 < i \leq -0.7$	$-0.7 < i < 5.2$	$5.2 < i \leq 9.2$	$9.2 \geq i$
13.患者1人1日当たり薬品費変化率(%)		$i \leq -7.7$	$-7.7 < i \leq -0.7$	$-0.7 < i < 7.2$	$7.2 < i \leq 12.8$	$12.8 \geq i$
14.患者1人1日当たり経費変化率(%)		$i \leq -2.5$	$-2.5 < i \leq 1.7$	$1.7 < i < 9.0$	$9.0 < i \leq 15.6$	$15.6 \geq i$
15.患者1人1日当たり資本費変化率(%)		$i \leq -8.3$	$-8.3 < i \leq -3.6$	$-3.6 < i < 3.2$	$3.2 < i \leq 10.1$	$10.1 \geq i$
16.患者100人当たり職員数変化率(%)		$i \leq -3.5$	$-3.5 < i \leq -0.1$	$-0.1 < i < 4.3$	$4.3 < i \leq 7.8$	$7.8 \geq i$
17.患者100人当たり看護師数変化率(%)		$i \leq -3.4$	$-3.4 < i \leq 0.3$	$0.3 < i < 5.6$	$5.6 < i \leq 10.8$	$10.8 \geq i$
18.給与費指数変化率(%)		$i \leq -3.0$	$-3.0 < i \leq -1.1$	$-1.1 < i < 1.1$	$1.1 < i \leq 3.1$	$3.1 \geq i$
19.平均年齢(%)						
20.設備投資効率変化率(%)		$i \geq 0.1$	—	$0.1 > i > -0.2$	$-0.2 \geq i$	—
21.病床利用率変化率(%)		$i \geq 3.5$	$3.5 > i \geq 0.9$	$0.9 > i > -2.7$	$-2.7 > i \geq -6.1$	$-6.1 \geq i$
22.外来入院患者比率(%)						
23.平均在院日数(%)						
24.医師1人1日当たり患者数変化率(%)		$i \geq 7.1$	$7.1 > i \geq 1.4$	$1.4 > i > -5.9$	$-5.9 > i \geq -9.9$	$-9.9 \geq i$
25.看護師1人1日当たり患者数変化率(%)		$i \geq 3.5$	$3.5 > i \geq -0.3$	$-0.3 > i > -5.3$	$-5.3 > i \geq -9.7$	$-9.7 \geq i$
26.職員給与費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -3.8$	$-3.8 < i \leq -1.5$	$-1.5 < i < 1.2$	$1.2 < i \leq 3.9$	$3.9 \geq i$
27.薬品費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -1.2$	$-1.2 < i \leq -0.4$	$-0.4 < i < 0.5$	$0.5 < i \leq 1.2$	$1.2 \geq i$
28.経費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -1.1$	$-1.1 < i \leq -0.2$	$-0.2 < i < 1.2$	$1.2 < i \leq 2.6$	$2.6 \geq i$
29.資本費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -1.0$	$-1.0 < i \leq -0.6$	$-0.6 < i < 0.1$	$0.1 < i \leq 0.7$	$0.7 \geq i$
30.薬品使用効率変化率(%)		$i \geq 6.3$	$6.3 > i \geq 2.8$	$2.8 > i > -0.7$	$-0.7 > i \geq -3.7$	$-3.7 \geq i$
31.不良債務比率(%)						
32.企業債元利償還金対料金収入比率(%)						
33.利子負担率(%)						
34.患者100人当たり他会計繰入金変化率(%)		$i \leq -11.9$	$-11.9 < i \leq -4.0$	$-4.0 < i < 6.5$	$6.5 < i \leq 18.1$	$18.1 \geq i$

診断表評価スケール（医療指標）（平成17年度決算用）

(i = 当該病院の数値)

項 目 \ 評 点	+ 2 (1~150)	+ 1 (151~300)	0 (301~600)	- 1 (601~750)	- 2 (751~)
1. 患者100人当たり施設面積 (㎡)	$i \geq 16.4$	$16.4 > i \geq 13.6$	$13.6 > i \geq 11.1$	$11.1 > i \geq 9.7$	$9.7 > i$
2. 患者100人当たり器械備品額 (円)	$i \geq 948,409$	$948,409 > i \geq 654,271$	$654,271 > i \geq 364,950$	$364,950 > i \geq 257,534$	$257,534 > i$
3. 患者100人当たり有形固定資産 (円)	$i \geq 5,741,534$	$5,741,534 > i \geq 3,696,400$	$3,696,400 > i \geq 1,445,982$	$1,445,982 > i$	-
4. 患者100人当たり室料差額対象病床数 (床)	$i \geq 29.3$	$29.3 > i \geq 22.5$	$22.5 > i \geq 12.5$	$12.5 > i \geq 5.3$	$5.3 > i$
5. 非木造面積比率 (%)	$i = 100.0$	$100.0 > i \geq 90.0$	$90.0 > i \geq 80.0$	$80.0 > i \geq 70.0$	$70.0 > i$
6. 患者100人当たり医師数 (人)	$i \geq 11.2$	$11.2 > i \geq 8.9$	$8.9 > i \geq 6.1$	$6.1 > i \geq 5.0$	$5.0 > i$
7. 入院患者1,000人当たり手術件数 (件)	$i \geq 21.9$	$21.9 > i \geq 15.9$	$15.9 > i \geq 5.3$	$5.3 > i \geq 0.7$	$0.7 > i$
8. 研究研修費対医業収益比率 (%)	$i \geq 0.5$	$0.5 > i \geq 0.3$	$0.3 > i \geq 0.2$	-	$0.2 > i$
9. 診 療 科 目	$i \geq 11$	$11 > i \geq 8$	$8 > i \geq 4$	$4 > i \geq 3$	$3 > i$
10. 特 殊 診 療	$i \geq 4$	$i = 3$	$i = 2$	$i = 1$	$i = 0$
11. 看 護 学 校	高 看	准 看	実習指定病院	無	
12. 指 定 病 院	$i \geq 7$	$7 > i \geq 5$	$5 > i \geq 3$	$3 > i \geq 1$	$i = 0$
13. 救 急 告 示	A	B	B'	C	無
14. 看 護 配 置	2:1 2.5:1	3:1	その他	否	
15. 専 門 外 来		実 施	否		
16. 剖 検 率	$i \geq 3.6$	$3.6 > i \geq 0.8$	$0.8 > i \geq 0.0$		
17. 訪 問 看 護		実 施	否		
18. 在 宅 診 療		実 施	否		
19. 公衆衛生活動・予防診療		実 施	否		
20. 午 後 診 療		実 施	否		
21. 外 来 予 約		実 施	否		
22. オープンシステム		実 施	否		
23. 土 曜 診 療		実 施	否		

診断表評価スケール経営指標（現

項 目	評 点	全国平均値 (M)	標準偏差 (SD)	最高値		最低値	
				数値	偏差値	数値	偏差値
1. 経 常 収 支 比 率 (%)		93.9	8.2	131.2	45.7	54.4	-48.3
2. 医 業 収 支 比 率 (%)		85.6	12.7	130.2	35.1	16.5	-54.4
3. 流 動 比 率 (%)		581.3	686.9	6,160.7	81.2	9.6	- 8.3
4. 医 師 1 人 1 日 当 たり 診 療 収 入 (千円)		333	95.2	798	48.9	94	-25.1
5. 看 護 師 1 人 1 日 当 たり 診 療 収 入 (千円)		53	13.8	109	40.3	12	-29.7
6. 入 院 患 者 1 人 1 日 当 たり 診 療 収 入 (円)		29,224	10,852.9	88,320	54.5	8,876	-18.7
7. 外 来 患 者 1 人 1 日 当 たり 診 療 収 入 (円)		8,730	3,053.9	25,513	55.0	2,935	-19.0
8. 検 査 技 師 年 間 1 人 当 たり 検 査 収 入 (千円)		41,276	45,900.2	443,732	87.7	1,058	- 8.8
9. 放 射 線 技 師 年 間 1 人 当 たり 放 射 線 収 入 (千円)		30,013	39,591.3	383,274	89.2	237	- 7.5
10. 患 者 1 人 1 日 当 たり 医 師 給 与 費 (円)		3,069	1,093.6	161	26.6	9,608	-59.8
11. 患 者 1 人 1 日 当 たり 看 護 師 給 与 費 (円)		6,611	2,340.4	1,391	22.3	21,460	-63.4
12. 患 者 1 人 1 日 当 たり 職 員 給 与 費 (円)		3,453	1,290.3	1,128	18.0	12,700	-71.7
13. 患 者 1 人 1 日 当 たり 薬 品 費 (円)		4,263	2,529.5	170	16.2	13,381	-36.0
14. 患 者 1 人 1 日 当 たり 経 費 (円)		6,075	2,668.9	1,286	17.9	31,133	-93.9
15. 患 者 1 人 1 日 当 たり 資 本 費 (円)		3,148	2,158.1	63	14.3	18,728	-72.2
16. 患 者 100 人 当 たり 職 員 数 (人)		67.3	20.0	15.9	25.7	194.6	-63.6
17. 患 者 100 人 当 たり 看 護 師 数 (人)		49.4	13.2	11.1	29.0	143.6	-71.3
18. 給 与 費 指 数		100.0	9.7	58.8	42.6	134.1	-35.3
19. 平 均 年 齢 (歳)		41.4	3.3	33.1	25.5	52.1	-32.8
20. 設 備 投 資 効 率 (%)		0.9	0.6	5.0	71.4	0.1	-13.7
21. 病 床 利 用 率 (%)		74.4	16.8	113.6	23.4	13.0	-36.6
22. 外 来 入 院 患 者 比 率 (%)		210.4	93.5	789.0	61.9	3.2	-22.2
23. 平 均 在 院 日 数 (日)		20.8	9.0	3.5	19.3	93.7	-81.5
24. 医 師 1 人 1 日 当 たり 患 者 数 (人)		14.1	6.0	52.1	63.2	2.5	-19.4
25. 看 護 師 1 人 1 日 当 たり 患 者 数 (人)		2.2	0.6	7.6	92.9	0.6	-27.1
26. 職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 (%)		63.3	16.3	22.3	25.2	167.5	-63.9
27. 薬 品 費 対 医 業 収 益 比 率 (%)		15.0	8.0	0.7	17.9	58.6	-54.5
28. 経 費 対 医 業 収 益 比 率 (%)		22.4	8.7	6.4	18.3	85.8	-72.5
29. 資 本 費 対 医 業 収 益 比 率 (%)		11.2	6.7	0.2	16.5	57.3	-69.1
30. 薬 品 使 用 効 率 (%)		111.2	15.9	240.8	81.4	10.6	-63.2
31. 不 良 債 務 比 率 ※ (%)		-27.4	40.0	-203.0	43.9	177.5	-51.2
32. 企 業 債 元 利 償 還 金 対 料 金 収 入 比 率 (%)		11.8	8.4	0.0	14.1	69.0	-68.5
33. 利 子 負 担 率 (%)		3.1	1.6	0.0	19.5	11.1	-49.5
34. 患 者 100 人 当 たり 他 会 計 繰 入 金 (千円)		498.5	502.4	0.0	9.9	5075.5	-91.1
計 (0.2を乗じた後)				-	58.9	-	-122.2

[偏差値の算式] ④ 高い (大きい) ほどよい項目..... $\frac{\text{当該団体 (病院) 数値} - M}{\frac{1}{10}SD}$

⑤ 低い (小さい) ほどよい項目..... $\frac{M - \text{当該団体 (病院) 数値}}{\frac{1}{10}SD}$

M :
平均値
SD :
標準偏差

況指標) (平成18年度決算用)

(i = 当該病院の数値)

偏差値の分布					項目 番号	偏差値 の算式
$i \geq +20$	$+20 > i \geq +10$	$+10 > i \geq 0$	$0 > i \geq -10$	$-10 > i \geq -20$		
1~6	7~84	85~512	513~761	762~841	1	}
1~2	3~109	110~526	527~748	749~846	2	
1~25	26~72	73~221	222~639	-	3	
1~38	39~121	122~364	365~786	787~878	4	
1~29	30~131	132~412	413~750	751~871	5	
1~23	24~141	142~403	404~746	747~883	6	
1~32	33~113	114~392	393~768	769~882	7	
1~22	23~28	29~230	231~859	-	8	
1~25	26~27	28~294	295~879	-	9	
1~4	5~120	121~476	477~767	768~849	10	}
1~2	3~108	109~487	488~776	777~850	11	
-	1~77	78~529	530~779	780~839	12	
-	1~127	128~522	523~732	733~845	13	
-	1~83	84~514	515~783	784~853	14	
-	1~74	75~535	536~777	778~841	15	
1~2	3~99	100~494	495~777	778~846	16	
1~6	7~98	99~492	493~787	788~850	17	
1~18	19~135	136~449	450~759	760~859	18	
1~7	8~147	148~460	461~743	744~861	19	}
1~31	32~83	84~235	236~599	600~639	20	
1~	2~107	108~507	508~734	735~818	21	
1~41	42~102	103~350	351~806	807~878	22	
-	1~22	23~564	565~783	784~838	23	
1~30	31~134	135~400	401~752	753~884	24	
1~35	36~101	102~379	380~797	798~875	25	
1~	2~78	79~528	529~762	763~839	26	
-	1~71	72~573	574~727	728~839	27	
-	1~86	87~520	521~773	774~843	28	
-	1~94	95~537	538~765	766~843	29	}
1~15	16~69	70~461	462~817	818~854	30	
1~20	21~86	87~300	301~580	581~626	31	
-	1~90	91~517	518~788	789~848	32	
-	1~68	69~354	355~543	544~612	33	
-		1~589	590~804	805~846	34	
1~116	117~256	257~454	455~617	618~704		

※注 不良債務比率については、不良債務の有無にかかわらず資金不足額(剰余額)を医業収益で除した数値を用いた。

☆診断表評価スケール経営指標（状況変動指標）（平成18年度決算用）

項 目	評 点	+ 2 (1~150)	+ 1 (151~300)	0 (301~600)	- 1 (601~750)	- 2 (751~)
1.経常収支比率変化率(%)		$i \geq 1.4$	$1.4 > i \geq -0.1$	$-0.1 > i > -3.7$	$-3.7 > i \geq -7.1$	$-7.1 \geq i$
2.医業収支比率変化率(%)		$i \geq 1.2$	$1.2 > i \geq -0.8$	$-0.8 > i > -4.6$	$-4.6 > i \geq -8.2$	$-8.2 \geq i$
3.流動比率変化率(%)		$i \geq 48.9$	$48.9 > i \geq -8.5$	$-8.5 > i > -367.0$	$-367.0 > i$	-
4.医師1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 5.2$	$5.2 > i \geq -0.1$	$-0.1 > i > -7.1$	$-7.1 > i \geq -13.8$	$-13.8 \geq i$
5.看護師1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 2.5$	$2.5 > i \geq -1.3$	$-1.3 > i > -8.3$	$-8.3 > i \geq -14.4$	$-14.4 \geq i$
6.入院患者1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 4.1$	$4.1 > i \geq 1.3$	$1.3 > i > -2.8$	$-2.8 > i \geq -6.6$	$-6.6 \geq i$
7.外来患者1人1日当たり診療収入変化率(%)		$i \geq 7.3$	$7.3 > i \geq 4.2$	$4.2 > i > -0.2$	$-0.2 > i \geq -4.0$	$-4.0 \geq i$
8.検査技師年間1人当たり検査収入変化率(%)		$i \geq 4.2$	$4.2 > i \geq -2.2$	$-2.2 > i > -11.5$	$-11.5 > i \geq -20.3$	$-20.3 \geq i$
9.放射線技師年間1人当たり放射線収入変化率(%)		$i \geq 6.1$	$6.1 > i \geq -1.2$	$-1.2 > i > -13.5$	$-13.5 > i \geq -22.9$	$-22.9 \geq i$
10.患者1人1日当たり医師給与費変化率(%)		$i \leq -4.7$	$-4.7 > i \geq 0.7$	$0.7 > i > 7.4$	$7.4 > i \geq 13.5$	$13.5 \leq i$
11.患者1人1日当たり看護師給与費変化率(%)		$i \leq -2.6$	$-2.6 > i \geq 1.0$	$1.0 > i > 6.4$	$6.4 > i \geq 11.0$	$11.0 \leq i$
12.患者1人1日当たり職員給与費変化率(%)		$i \leq -3.6$	$-3.6 > i \geq 0.3$	$0.3 > i > 7.1$	$7.1 > i \geq 13.1$	$13.1 \leq i$
13.患者1人1日当たり薬品費変化率(%)		$i \leq -9.5$	$-9.5 > i \geq -3.2$	$-3.2 > i > 5.5$	$5.5 > i \geq 11.1$	$11.1 \leq i$
14.患者1人1日当たり経費変化率(%)		$i \leq -2.1$	$-2.1 > i \geq 2.1$	$2.1 > i > 10.1$	$10.1 > i \geq 18.3$	$18.3 \leq i$
15.患者1人1日当たり資本費変化率(%)		$i \leq -5.8$	$-5.8 > i \geq -1.6$	$-1.6 > i > 6.8$	$6.8 > i \geq 15.6$	$15.6 \leq i$
16.患者100人当たり職員数変化率(%)		$i \leq -1.8$	$-1.8 > i \geq 1.5$	$1.5 > i > 6.8$	$6.8 > i \geq 11.8$	$11.8 \leq i$
17.患者100人当たり看護師数変化率(%)		$i \leq -1.4$	$-1.4 > i \geq 2.2$	$2.2 > i > 8.2$	$8.2 > i \geq 14.4$	$14.4 \leq i$
18.給与費指数変化率(%)		$i \leq -2.9$	$-2.9 > i \geq -1.1$	$-1.1 > i > 1.3$	$1.3 > i \geq 3.4$	$3.4 \leq i$
19.平均年齢(%)						
20.設備投資効率変化率(%)		$i \geq 0.02$	$0.0 > i \geq -0.01$	$-0.01 > i > -0.25$	$-0.25 > i$	-
21.病床利用率変化率(%)		$i \geq 1.2$	$1.2 > i \geq -1.2$	$-1.2 > i > -6.9$	$-6.9 > i \geq -13.1$	$-13.1 \geq i$
22.外来入院患者比率(%)						
23.平均在院日数(%)						
24.医師1人1日当たり患者数変化率(%)		$i \geq 5.2$	$5.2 > i \geq -0.7$	$-0.7 > i > -7.0$	$-7.0 > i \geq -12.7$	$-12.7 \geq i$
25.看護師1人1日当たり患者数変化率(%)		$i \geq 1.5$	$1.5 > i \geq -2.2$	$-2.2 > i > -7.6$	$-7.6 > i \geq -12.6$	$-12.6 \geq i$
26.職員給与費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -1.5$	$-1.5 > i \geq 0.5$	$0.5 > i > 4.2$	$4.2 > i \geq 8.2$	$8.2 \leq i$
27.薬品費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -1.1$	$-1.1 > i \geq -0.4$	$-0.4 > i > 0.6$	$0.6 > i \geq 1.4$	$1.4 \leq i$
28.経費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -0.6$	$-0.6 > i \geq 0.3$	$0.3 > i > 2.0$	$2.0 > i \geq 3.9$	$3.9 \leq i$
29.資本費対医業収益比率変化率(%)		$i \leq -0.7$	$-0.7 > i \geq -0.2$	$-0.2 > i > 0.6$	$0.6 > i \geq 1.4$	$1.4 \leq i$
30.薬品使用効率変化率(%)		$i \geq 3.8$	$3.8 > i \geq 0.2$	$0.2 > i > -4.1$	$-4.1 > i \geq -9.7$	$-9.7 \geq i$
31.不良債務比率(%)						
32.企業債元利償還金対料金収入比率(%)						
33.利子負担率(%)						
34.患者100人当たり他会計繰入金変化率(%)		$i \leq -6.2$	$-6.2 > i \geq 1.1$	$1.1 > i > 13.4$	$13.4 > i \geq 31.3$	$31.3 \leq i$

診断表評価スケール（医療指標）（平成18年度決算用）

(i = 当該病院の数値)

項 目 \ 評 点	+ 2 (1~150)	+ 1 (151~300)	0 (301~600)	- 1 (601~750)	- 2 (751~)
1. 患者100人当たり施設面積 (㎡)	$i \geq 17.4$	$17.4 > i \geq 14.5$	$14.5 > i \geq 11.7$	$11.7 > i \geq 10.1$	$10.1 > i$
2. 患者100人当たり器械備品額 (円)	$i \geq 959,506$	$959,506 > i \geq 658,666$	$658,666 > i \geq 371,278$	$371,278 > i \geq 250,453$	$250,453 > i$
3. 患者100人当たり有形固定資産 (円)	$i \geq 5,925,981$	$5,925,981 > i \geq 3,976,379$	$3,976,379 > i \geq 1,510,220$	$1,510,220 > i$	-
4. 患者100人当たり室料差額対象病床数 (床)	$i \geq 31.5$	$31.5 > i \geq 23.9$	$23.9 > i \geq 12.8$	$12.8 > i \geq 5.3$	$5.3 > i$
5. 非木造面積比率 (%)	$i = 100.0$	$100.0 > i \geq 90.0$	$90.0 > i \geq 80.0$	$80.0 > i \geq 70.0$	$70.0 > i$
6. 患者100人当たり医師数 (人)	$i \geq 11.8$	$11.8 > i \geq 9.2$	$9.2 > i \geq 6.2$	$6.2 > i \geq 5.0$	$5.0 > i$
7. 入院患者1,000人当たり手術件数 (件)	$i \geq 22.2$	$22.2 > i \geq 16.0$	$16.0 > i \geq 4.6$	$4.6 > i \geq 0.3$	$0.3 > i$
8. 研究研修費対医業収益比率 (%)	$i \geq 0.5$	$0.5 > i \geq 0.3$	$0.3 > i \geq 0.2$	$0.2 > i \geq 0.1$	$0.1 > i$
9. 診 療 科 目	$i \geq 11$	$11 > i \geq 8$	$8 > i \geq 4$	$4 > i \geq 3$	$3 > i$
10. 特 殊 診 療	$i \geq 4$	$i = 3$	$i = 2$	$i = 1$	$i = 0$
11. 看 護 学 校	高 看	准 看	実習指定病院	無	
12. 指 定 病 院	$i \geq 7$	$7 > i \geq 5$	$5 > i \geq 3$	$3 > i \geq 1$	$i = 0$
13. 救 急 告 示	A	B	B'	C	無
14. 看 護 配 置	7 : 1 10 : 1 13 : 1	15 : 1	その他	否	
15. 専 門 外 来		実 施	否		
16. 剖 検 率	$i \geq 3.4$	$3.4 > i \geq 0.8$	$0.8 > i \geq 0$		
17. 訪 問 看 護		実 施	否		
18. 在 宅 診 療		実 施	否		
19. 公衆衛生活動・予防診療		実 施	否		
20. 午 後 診 療		実 施	否		
21. 外 来 予 約		実 施	否		
22. オープンシステム		実 施	否		
23. 土 曜 診 療		実 施	否		